

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 15 日

調査者氏名 箱葉泰

08688008

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) AQUACULTURIST (日本語) エビ養殖 182	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1988年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: PLACER BRACKISHWATER FISH FARM 日本語名称(ラジール汽水養殖場) 所在地: ミンタオ島北スガオ州ラジール 主要都市(スガオ)から 32 キロ					
③ 事業規模及び内容: (事務所) 農業省オの管区所有の養殖場 総面積 12ヘクタール、養殖池 9ヘクタール 1987年9月の異常高潮被害を受け養殖場は本年4月に修復完了予定。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 場長, テクニシャン2名, ケーカ1名, ワーカー9名。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 場長のアシスタント (技術者)					
② 技術の範囲: 養殖場の維持, エビ養殖技術の伝達。 (PRAWN)					
③ 業務の形態: ① カウンターパートへのエビ養殖の指導 (79ヘクタール当り 500kgの収穫を目標にCW) ② 養殖池の管理 (フェニステーションチーム) ③ 近隣農民, 漁民へのエビ養殖の普及。 ④ エビ養殖生産, 普及計画作り。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 2名, 場長, テクニシャン 水産学校卒					
⑤ 現地で利用できる機材: ボート, 若干の網					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語, タイ語(現地訓練) スリガオ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: エビ養殖場の発展が地域住民への普及, 台風被害や強風で悩まれている周辺住民の収入増進につながり, 地方経済の活性化につながる。 技術は養殖場内での定着させると共に普及活動も期待して頂。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水産高卒以上 ○エビ養殖の経験者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59 年 9 月 26 日

05586044

調査者氏名 鈴木信一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語) Laboratory Management	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 182 淡水養殖 (淡水漁業)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

- 1) 配属先
1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of University Affairs
(日本語): 大学庁
 2. 隊員勤務先名称: Maejo Institute of Agricultural Technology 日本語名称 (マエジョ農科大学)
所在地: アイソマイ 主要都市からの距離 (より600キロ)
 3. 事業規模及び内容: アイソマイの農科大学(IAT)はタイ唯一の4年制の国立農業大学であり、農業経営、農業生産の2学部から成っている。
 4. 設備概要:

- (2) 隊員の業務内容:
1. 隊員の業務上の地位: 教官 (Instructor)
 2. 技術の範囲及び業務の形態: 隊員は同大学農業生産学部動物学科内水面漁業課に所属し、淡水養殖、淡水漁業研究室における実験・研究の指導、研究体制の整備・改善を行う他、学生に対して淡水養殖・淡水漁業についての講義を行う。また大学が行っている週回農民の普及訓練コースに参加し、タイ側カウンターパートと協力して訓練にあたる。
 3. 対象者及びカウンターパートの技術水準: 指導の対象は動物学科の学部学生(30-50人)である。IATは4年生大学であり、文部省管轄の Agricultural College (高校3年短大2年)に較べ学生レベルは高い。
 4. 機材: 基本的機材は一通りあるが充分ではない。
 5. 使用する言語: タイ語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待:
- 大学教育に於ても一般的に理論的講義が中心となり単なる知識の取得に止まり、研究、実験、実習等の実践による理解の面が厚れている傾向にある。同学部は特に実験・実習の内容の拡充・改善を促して教授内容の向上を期待している。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大学卒以上 ② 経験3年以上 ③ 年齢26才以上 4. 大学での指導となるため、学士の資格に加えて当該分野における大学での研究経験(出来れば修士)があることが望ましい。

197

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 4 月 30 日

調査者氏名 鈴木信一

05586045

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
71	(現地公用語)	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
182 淡水魚養殖					

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): *the institute of technology and vocational education*
(日本語): *フジスタマラト農業高等専門学校*

② 隊員勤務先名称: *フジスタマラト農業高等専門学校 淡水魚科* 本語名称()
所在地: *フジスタマラト県マンソン市* 主要都市(バンコク)から 1000+ キロ

③ 事業規模及び内容: *生徒数 950 人、教師数 80 人。淡水漁業科、農業機械科、畜産飼育科、農業経営科 2 科がある。*

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: *カウンターパートに対して技術支援士を行う。*

② 技術の範囲: *淡水魚の病気の各種の研究、調査等。*

③ 業務の形態: *淡水魚に発生する病気の発生原因及びその予防対策について、カウンターパートに指導する。即ち淡水魚に発生する病気を、その発生原因を調査し、その発生原因を指導する。*

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: *淡水魚科には教師が 2 人あり、大卒で淡水魚の専門家一般に乏しい。*

⑤ 現地で利用できる機材: *池が 20 池あり、その 20 池を食用の池の淡水魚を育てる。病気の研究をするための必要機材は池にはない。*

⑥ 第3国人等の配置状況: *いない*

⑦ 使用する言語: *タイ語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): *淡水魚(食用)に発生する病気の調査及び研究、対策の経験、または経験のある者。タイ語が母語で、大学以上、26歳以上。*

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 5 日

調査者氏名

小野睦一

131
(88001)

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モロコ	<i>pisciculture</i> (日本語) (182)淡水養殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère de l'Agriculture et de la Réforme Agraire</i> (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: <i>Service de l'Arrondissement des</i> 日本語名称(アラバ-森林水産局支所) 所在地: <i>Faux et Forêts, Azrou</i> 主要都市(ラバト)から約50キロ					
③ 事業規模及び内容: モロコ唯一の淡水養殖所(ワウンマス、ニジマス、カワカマス)である。 <i>Azrou</i> 県の豊富な清流が水を有効に利用すべく、1924年以來から、 救済国フランス人により行われていた。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 日本山形村部によく似ており、冬は、雪も多く降り、暖房設備も必要となる。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <i>Ingénieurs de pisciculture</i> (淡水養殖技師)					
② 技術の範囲: 当養魚場の研究室に勤務し、マス類の産卵期には、親魚の採卵、採卵 検卵、水質検査等を行う。動物性プラクトンの研究。					
③ 業務の形態: 農業省森林水産局の淡水養殖技師として勤務する。 勤務時間、午前8時半～12時22分、午後2時半～6時半まで 土、月、祝祭日は休み。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートはいないが、同僚職員達 と一緒に仕事をすることになる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 水質検査一式 (JICAモロコシ事務所に保管中)。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1973年～1975年の1年教訓にわたり、48ヶ月間 儀礼古志宣 隊員が配属されてきた職場である。その後10年以上もたつたから、再度淡水養殖の派遣 要請が上がり、近年になく差を浮き出した。同・モロコシから、JICAの 研修員として、エビ養殖等に参加して帰国研修員から、日本の進んだ淡水養殖技術者として 入りたいという希望が湧いたからと思われる。養魚の目的は、親魚漁業 (<i>La pêche sportive</i>) として利用するにある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 尚、養魚場の方針として、種苗生産、親魚育成、飼料 魚病、水質検査が必須研究課題となることである。 水産大、水産高専卒以上で、淡水養殖について、(3年以上) 経験がある人が望ましい。 (25才以上) (研究所等) 1999					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

変更なし 62年 9月 7日
記入 昭和 62年 / 月 日

調査者氏名 上野利男
協力者 阿部倫久

146-86106

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア・アラブ 共和国	(現地公用語) マスマケ アル サマツ (日本語) 養殖 (182)	新規 <u>変更</u>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年 4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): ウドーラット アズイラー モワツサセ アル サマツ (日本語): 農業用地改革省 水産公団					
② 隊員勤務先名称: マスマケ マサツフ・ミン 日本語名称(シリアのマサツフ・ミン県) 所在地: タルハース県 マサツフ・ミン 主要都市(ラフキア)から 45 キロ					
③ 事業規模及び内容: ドイツゴイ, テラピア, ソウキョウ等 淡水魚の稚苗生産, および, 食用魚の生産。ペレット工場による飼料生産。1985年度はドイツゴイ 約 228トン, テラピア 約 108トンの生産。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 総面積約 80ha に、養成池 14面(約 50ha), 稚苗生産池 13面(各約 3ha), 稚魚池 3面(各約 3ha), その他, セメント産卵池, 決水池等を有する。ミニペレット工場を備設。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖技術者					
② 技術の範囲: 淡水魚養殖全般に関する一般知識, 技術者。62年度にはニホホラの淡水養殖, Silvercarp, Bighead carp, ヒレナマス等の稚苗生産を新規に計画。					
③ 業務の形態: 現場の勤務時間は 7:00 ~ 15:00 (1時間休憩) が原則。稚苗生産, 飼育等の生産活動における技術指導を行って, 養殖技術の移転を計る。さらに, 水質管理基礎的データを残すと共に, 新魚種の導入などの試行のアプローチも必要。また, 近くのバニース火力発電所, 精油工場などには排水利用のテラピア養殖に着手, および着手しようとしており, これら周辺地域への技術的アドバイスも必要と見られる。ペレット工場への仕事も業務に含まれる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 支所長(部区大学卒 38才), 場主任(大学院卒 31才), 現場技術職員 2名(農業高校卒 30才, 31才)。操縦知識は知られる。					
⑤ 現場で利用できる機材: 生産に必要な最低限の備蓄, している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 水産公団本部に JICA の山崎専門家が赴任中。					
⑦ 使用する言語: アラビア語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国には水産技術者養成の教育機関はなく, 現場で活動出来る技術者は配られていない。従って, 生産活動に参加しつつ技術指導を行うことを JOCV 隊員に望んでおり, 期待は高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (水産技術者養成関係学部学科, 大学卒が望ましい) (同務経験1年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 / 月 11 日

調査者氏名 和泉 尚

221-86-110
221-87-018, 221-87-019

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 3人	63年 8月	
	(日本語) 182 養 殖	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Fish Resources Development Department. (日本語): 農 業 省, 漁 業 資 源 開 発 局					
② 隊員勤務先名称: Sebeba Fish Culture & Research Institute 日本語名称(サバタ養殖研究所) 所在地: Sebeba 主要都市(アジスアベバ)から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1977年協力隊の援助により建設された養殖場である。 テラピア、カーブなどの淡水魚の人工孵化による種魚の生産及び普及などが主たる業務である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 生簀、ラボラトリー、ハッチエリー、倉庫など一応は揃っているが管理が良くない。水の漏水を利用。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: シニアアドバイザー					
② 技術の範囲: 人工孵化、種魚の生産及び養殖、新種の養魚開発、養魚場運営、養殖の普及に伴う農民へのアドバイス、養魚場の水質検査					
③ 業務の形態: 現在サバタ養魚場には、テラピア(ニロカヒジリ)と、カーブ(フエシ、シムバクル、シマン、グラス)などが養殖されており、隊員はもとより、カウリーパートと共に、技術上のアドバイスと養魚場の運営、管理にあたる。 また、養殖普及のため、養魚場の建設、水質検査、養殖法などの指導も行っている。今更各地を巡回する予定も検討されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高卒で30歳前後であるが、専門的知識は、不十分、マネージャーは弱い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 冷蔵庫、顕微鏡、ポンプ、水質分析器、分光光度計。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: アムハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: おつて、協力隊の全学援助により建設され、隊員の手により技術移転が行われてきたところであるが、その技術期間の経た途絶えていく内に技術上の問題などが累積して来た。サバタ湖が狭く、その周辺の養魚場を確保する必要がある。養殖の普及と取組の積極化を図る。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 短大卒以上 経験3年以上					
※ 事務局記入 201					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 10 日

調査者氏名 安城 康平

253
880/0

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ニジエール	(現地公用語) Pisciculture (日本語) 182 養殖 (淡水)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	64年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Direction du Service des Pêches et de la Pisciculture / MAGE (日本語): 漁業養殖局 / 農業環境省					
② 隊員勤務先名称: D.S.P.P 日本語名称(漁業養殖局) 所在地: ニアム 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: ニアム近郊ニジエール川沿いの養殖場において、 養殖試験 養殖を行っている。始まったばかりであり市場出荷は 軌道にのっていない。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ニジエール川沿いに 3ヶ所の養殖池があるものの 試験設備は乏しい。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖 養殖 技師					
② 技術の範囲: 養殖魚の選定 養殖条件の指導、等 基本整備と 持来の方向付。					
③ 業務の形態: 当部門の歴史が浅い事もあり、養殖技師は少なく、慎重な 市場への出荷等は行なわれていない。魚と養殖池に集めると 病気が発生するなど基本的な段階でつまづいているようである。 一つ一つの問題を解消し、当事業を軌道にのせるためのラインづくり が求められている。 魚は テラピア、キャフテン、鯉等					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート: 農業専門学校卒程度 25才~ 28才					
⑤ 現地で利用できる機材: 養殖池、漁具 (アミ等) 薬品は購入可					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 政府の方針である食糧増産の目標で始めた 事業であるが、現状は問題を多くかかえ、救世主が求められているよう でもあり、当事業を軌道にのせるべく期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 養殖経験 3年以上 (淡水)					
○ 大学 水産学部卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

261 86016

記入 昭和 60 年 12 月 1 日

調査者氏名 古賀実, 川口勝資

261-86016

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Pisciculture (Ostreiculture) (日本語) 182 養殖 (カキ)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Secrétariat d'Etat aux Ressources Animales 動物資源庁 (日本語): Direction Pêches Maritimes 水産局					
② 隊員勤務先名称: Centre Expansion Rural Polyvalent de (日本語名称: ルティカウロフ 農村近代化センター) 所在地: Loudia-oulof (Loudiaoulof 主要都市 (ツカンガール) から 60 キロ)					
③ 事業規模及び内容: 初めての試みの為 養殖 70-70 とし 40名の漁民メンバーでスタート。 水産物加工 隊員もいる。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): なし					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖 技術士					
② 技術の範囲: カキ 養殖の指導が主であり カキ 養殖と 船外機 の知識が必要					
③ 業務の形態: 自然の カキ を採取し 漁民 70-70 と 養殖 を 試みる。 養殖に関する 技術的 指導, 販路 開拓, 漁民 70-70 運営 など。 一般に 時 養殖 は 11月 ~ 4月 (乾期) とする。 公務員 勤務 時間は 8:00 ~ 12:00, 15:00 ~ 18:00 であるが 農水関係 業種 は 業務 内容 に 合わせ て 変更 される。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 半漁民, 技術水準 ゼロ 学歴, 小学校卒業程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: ボート, 船外機					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員 (水産物加工)					
⑦ 使用する言語: フランス語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地は カキ 養殖 における 条件 を 備えて あり 近隣 に 市場 と なる リゾート地 が 存在 する。カキ による 地域 経済 の 発展 に 期待 する。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 養殖 経験, 船外機 知識					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 61年 12月 27日

調査者氏名 兼古正治 大芝博明

283870/3

受人希望国名	受人希望業種	区分	受人希望人数	受人希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 養殖	新規 (交替)	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年12月 (63/2次)	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development, Department of Fisheries (日本語): 農業水産開発省 水産局					
② 隊員勤務先名称: Mwekera Fish Farm 日本語名称 (ムエケラ養魚場) 所在地: Kitwe と Ndola の中間 (Kitwe より) 主要都市 (Kitwe) から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: 40余りの養魚池の養魚池でのザンビア産ティラピア種、鏡鯉の養殖および実験室 (1セパニライト水槽15基) において、鏡鯉の種苗生産をしている。又農民対象のトレーニングを開校している。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務所, 倉庫, トラクター, ランドローバー, 活魚輸送車, 教室2, 宿舎 (約20名), 養魚池約40, 実験室, 養魚用水は豊富					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fish Culturist					
② 技術の範囲: 鏡鯉の種苗生産および養殖が中心で、又種苗生産場をつくらなければならない。トレーニングの講義も行う。					
③ 業務の形態: 仕事の大半が鏡鯉の種苗生産にかかわる仕事が多い。勤務時間は普通 月～金 AM 8:00 ~ PM 5:00 (PM 1:00 ~ Zero 昼休み), 土日は休みであるが、産卵シーズニには土、日、早朝、タピオを出勤しなくてはならない。Fish Scout, Worker との連携が仕事を進め上で重要である。ムエケラ養魚場の支場である Masaiti 養魚場にも現在1人隊員が働いている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 1年間の水産局のトレーニングを終了して高卒業程度の技術水準であるが魚の取り扱い方など基本的なことかててきた。					
⑤ 現地で利用できる機材: 水質検査器, ポンプ, 計量器, 1セパニライト水槽15, 0.5セパニライト水槽2, 炭化槽1セパニ, エレベーターポンプ, 収穫用曳網, バナナボート, 活魚輸送車					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語, ベンバ語					
(3) 受人希望の背景と受人国の期待: 最近、ザンビア政府は、国民へのタンパク源確保の為に養殖に期待をしている。その中で、鏡鯉の種苗生産に注目している。とくに Fish Farm を目にするものが増えにきており興味も深まっている。現在 1セパニライト水槽を使用し、種苗生産に成功はしたがまだ問題があり、これから研究と規模拡大をして種苗も販売しなくてはならない。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学の水産増殖学科卒業したものが望ましい。②の種苗生産操業にやっていたもの。ホシモニ注射による産卵誘発のこともできるものが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 2 月 4 日

調査者氏名 松本 博之
大 芝 博 明



28388005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガニビア	(現地公用語) Fishery Biology (日本語) 水産生物学(養殖)	新規 <u>交替</u>	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	64年6月 (63/3次)	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Fisheries, (日本語): 農業水産資源省, 水産局,					
② 隊員勤務先名称: Lake Kariba Research Unit 日本語名称(カリバ湖研究所) 所在地: Singongwe Fisheries Training Centre内主要都市(キョム)から100キロ					
③ 事業規模及び内容: 水産局の総合施設であるトレーニングセンターは、トレーニング・エクス ンション、リサーチの3部門に分かれており、総スタッフ数は60名を超える。既設派遣先の リサーチ部門は総スタッフ12名で、隊員はリサーチ部門の専任者、これを務める。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): リサーチ部門には、ハウス、倉庫、実験室があり、他には調査用 ボート、船外機、道具等を備えている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries Biologist (水産生物学者), Fisheries Research Officer,					
② 技術の範囲: 水産資源調査、研究、道具改良試験等					
③ 業務の形態: 水産資源調査については、最初に調査プログラムを作り、それに従いサンプリング を行う。その後集められたサンプル・データの分析、解析を行う。 道具改良試験については、ボート及び船外機の設計から始まり、作製、試験結果 データの収集というふうに移り変わっている。最近道具・漁法の改良に務める。 2ヶ月に1回水産局に業務報告書の提出。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 英国と日本に研修に行つた1人を除き、 他のスタッフはマカオ・リベラ卒業か中退である。年齢は29~47才と幅広い。					
⑤ 現地で利用できる機材: バッタボート、船外機、調査用網、地曳網、リフトネット、 その他簡単な実験器具、また中央水産局にはデータ解析用IC-リトルコンピュータが あり。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ガニビア内計4つのリサーチ部門で、私と他に1人自ラコタニカニに1人 ⑦ 使用する言語: 英語 英語である					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガニビアは、新カブ代りに湖沼、河川が少なく存在する。 水産資源の有効利用、養殖の関心が高まっているが、研究は十分に行われておらず、知識 を有する技術者が不足している。また、一部の水域では漁獲量の増加、乱獲の徴候も見ら れており、資源量の推定、未利用資源の活用、新資源の導入、道具改良等の研究が 急務とされている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学(水産学部)卒業以上。水産関係に中程度の知識を有し、特に水産生物学、 水産資源学、道具漁法等の豊富な知識が必要。肉類調査経験がある方が尚可。					
※ 事務局記入					

205

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

31086106.

記入 昭和 62 年 5 月 2 / 日

調査者氏名

高沢 清 富 未 富 健 司

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
BOLIVIA ボリビア	(現地公用語) Ecología del Piscicultura, lago (日本語) 182 養殖 (湖沼生態学)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	88年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Centro de Desarrollo Pesquero, MACA (日本語): 農牧省国立水産開発センター					
② 隊員勤務先名称: Tiquina 養殖研修センター 日本語名称 () 所在地: 主要都市 (ラパス) から 111 キロ					
③ 事業規模及び内容: 現在、局長以下ラパス事務所には 15 名 養殖場に 2 名 地方に 7 名 であるが、キーのプロジェクトに合わせ増員計画がある。内容は、水産開発計画、 湖沼・河川の生態的調査、各種調査、水産行政、統計等。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): Pongo に ニツマス 稚苗生産施設、La Angostura に コイ、 および アヘレイ の 稚苗生産施設がある (不稼働)					
(2) 隊員の業務内容 カウンタート・農民への技術指導及び各種調査					
① 隊員の業務上の地位: ingeniero といい、専門家と同じような位置になる。					
② 技術の範囲: ニツマス 養殖技術、生態的調査技術、水産統計、 水産加工、潜水、その他水産一般。					
③ 業務の形態: 別紙参照					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農漁民は、小学校卒が多く基礎 学力はほとんどない。カウンターパートの学力も日本の中学校卒くらいまでよい。					
⑤ 現地で利用できる機材: JICA 専門家からの機材使用可能。現隊員機材 として、寝袋、雨具、胴長、長靴等の個人で使用するものの余分がなく、持参 の必要あり (携行機材として)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 英国専門家がいるが熱帯低地を中心に活動している。					
⑦ 使用する言語: スパイン語、アイマラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ニツマス資源が激減の中、農民の養殖希望は増加 の途であり、さらには、広範囲に及んでいることから技術移転業務 稚苗生産 業務、調査改善業務を田舎から効果的に遂行するために優れた 日本人技術者の必要性がある。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 水産大卒もしくは、水産学部卒以上で 実務経験 1 年以上で生態的調査 (河川・湖沼) に詳しい人。 潜水技術、船舶の操船技術、更に運転免許 (車) があると良い。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 8 日

調査者氏名

小林 育夫 (調) 浜 満 靖

310
No. 88002

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリビア	(現地公用語) Piscicultura (日本語) 養殖 (182)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年5月	
(1) 配属先 Centro de Desarrollo Pesquero (C.D.P)					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Asuntos Campesinos y Agropecuarios (M.A.C.A) ← (日本語): 農牧省 水産開発局					
② 隊員勤務先名称: Centro de Desarrollo Piscicola 日本語名称 (養殖開発センター) 所在地: ティキーナ (4千カカ湖岸) 主要都市 (ラパス) から 110 キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本の無償資金協力により建設され、本年3月4日に、開所式が行なわれたばかりである。年50万尾の稚魚、16tの食用魚生産を目標とする。その他養殖技術者の育成、各種調査、試験も行なわれる。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 湖面に網生簀 48 面、陸上に各種コンクリート池 (取水は湖よりポンプアップ)、採卵室、ふ化室、研修棟 (実験室など)、宿泊棟など 写真あり					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産技術指導者及び業務上でのアドバイザー的立場					
② 技術の範囲: ニジマス養殖技術一般、湖沼、河川の生態学的調査、水産加工学、養魚飼料学、操船技術及び漁具漁法など多岐にわたる					
③ 業務の形態: ティキーナ養殖開発センターにて、ニジマス養殖、種苗生産技術指導、各調査、試験の計画、実施、又農村への技術移転にカウンターパート共に同行する。等の仕事予定されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農漁民は基礎学力は無いに似しい。カウンターパート達は高卒以上だが日本の中学生のみである。3名は JICA 専門家の推薦で日本に付た。					
⑤ 現地で利用できる機材: ティキーナ養殖開発センター用についた機材、及び以前からの専門家、協力隊の機材リストを別紙に添付する。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 英国専門家が熱帯低地を中心に仕事をしている。					
⑦ 使用する言語: スパイン語 農漁民はアキラ語もしゃべるがスパイン語で通じる					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ティキーナのセンターが始動したが、今後数年は日本人技術者による指導が必要と思われボリビア側もそれを望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): (水産高校もしくは大学の水産学部を卒業) (ニジマス養殖の経験) を有するもの。できれば小型船舶を操船できるもの。それに(2)の②に記した技術でできるだけ有するもの					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

319
86007

記入 昭和 61 年 5 月 21 日

調査者氏名

奥村 浩



182


受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) PISCICULTURA (日本語) 182. 養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61 年 9 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION AUTONOMA REGIONAL DEL CAUCA -C V C-					
(日本語): カウカ地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: INSTITUTO DE PISCICULTURA TROPICAL-BUGA-日本語名称(熱帯養魚研究所)					
所在地: VALLE, PALMILA (ワレ県) パルミラ市 主要都市(カリ市)から1H30min					
③ 事業規模及び内容: 養殖技術開発計画事業(地域振興)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 養殖槽 44, 水槽, 養魚プール, 実験室, 孵化室, 図書資料室, 標本室, 他事務室等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究室顧問					
② 技術の範囲: 人工増殖関連技術					
③ 業務の形態: 生長ホルモン, 卵の保護観察, 孵化, 稚魚飼育, 選別等, 養殖に関する技術を, 技術指導顧問として行い, 又, 指導計画の作成, 助言により, 養殖技術の一段の向上をはかる。					
就業時間: 午前 8:00 ~ 12:00 午後 2:00 ~ 6:00					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
二人の生物学専攻者 (29才, 31才)					
⑤ 現地で利用できる機材:					
一般的実験器具					
⑥ 第3国人等の配置状況: ドイツ人ボランティア 1名					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
要請提出が二年前であり, 現在, 専門の技術者がほとんどいないため, 早急の隊員の派遣を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
養殖技術経験者, できれば特に問わぬが, 上記技術の充分な指導ができる。					
※ 事務局記入					

319
86009

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

(61年5月26日付報告後の現地調査報告に追加調査)

記入 昭和 61 年 7 月 21 日

調査者氏名 奥村浩 

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) ACUICULTURA CORPORATIVA PESQUEROS (日本語) 182 養殖(淡水)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION AUTONOMA REGIONAL PARA EL DESARROLO DE NARIÑO (日本語):					
② 隊員勤務先名称: CORPONARIÑO en TUMACO COCHA 日本語名称(コチャ湖養殖試験場) 所在地: NARIÑO, TUMACO (ナリニョ県, コチャ湖) 主要都市(PASTO)から20キロ					
③ 事業規模及び内容: CORPONARIÑOは、三年前に NARIÑO 県に設置された開発公社であり、県全体、地域開発を目的としている。開発分野は、工鉱業、農水林業のうち、漁業に集中している。淡水養殖事業は、INDERENA の施設と二年前に受け継ぎ、最下、養殖関係の事業拡大を計画している。特に近郊農家の技術移転事業。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 淡水養殖事業は、現在リリス市の養殖池(テリア, コイ, 鱒), 及びコチャ湖畔施設(養殖試験場, 事務所, ホト2隻)と3人のスタッフで担当している。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 淡水養殖(虹鱒)技術顧問					
② 技術の範囲: 虹鱒の養殖技術及び近郊農民への漁業指導, 市場調査, 組合による湖・管理等の指導					
③ 業務の形態: 当初、リリス市の養殖池を拡大が予定であったが、コチャ湖の INDERENA 施設を受け継ぎ、中心にコチャ湖に移した。未だ実験的段階であり、隊員は、総合的観点から準行政的立場で仕事を展開することになり、内容は、まず養殖技術移転による漁民に湖管理の指導, 市場開拓などであるが、小岳地帯であり、輸送に困難が予想され、加工技術, 市場開拓は、かなり重要性を帯び、かつ、当地では、また、大変高価な為、需要は充分ある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: リリス・コチャ担当 女性生物学者(1年経験), コチャ湖担当 生物学者(2年経験) 及び、管理(従事)					
⑤ 現地で利用できる機材: (別添写真参照) ホト2隻, 実験器具若干(ワゴン等), 7化設備, その他。コチャ湖: 長さ17km, 最幅7km, 海拔約2500m, 水温8~10°, 4200ha, 5000m級の山に囲まれた湖であり、土砂流入が激しい。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: INDERENA のコチャ湖畔設備(養殖試験場, 及びホト)を受け継ぎ、特に湖周辺の漁民(漁)の収益拡大を計る為、漁業指導(行方なく新規開拓)と作戦立案, 技術者が皆無であり、又、同様の技術水準を知らず、多大の期待を寄せている。コチャ湖では、自獲(密漁者, 釣り人等)による漁獲量減少が著しく、漁民の深刻な経済問題に陥っており、漁防対策, 組合方式の管理を望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 養殖(淡水)若くは虹鱒経験者(5年以上), 漁業組合関係技術(市場調査調整, 漁民指導)加工技術等)有る者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 2 月 6 日

調査者氏名 奥 村 浩 一

31988008

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) PLSICULTURA	新規 交替	(男) 1 人	1989 年 2 月	
	(日本語) 182. 淡水養殖		(女) 人		
			(男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION NACIONAL PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO-CODECHOCO-					
(日本語): チョコ州地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: CORP. NAC. PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO 日本語名称(チョコ州地域開発公社)					
所在地: Cra. 1A No. 22-96 QUIBDO, CHOCO 主要都市(キブド)から --- キロ					
③ 事業規模及び内容: 当開発公社は、チョコ州の地域開発事業に取り組んでいる。漁業部門ではソラノ湾に於てチョコ大学漁業学校と協力し地域漁民への技術指導を行っている。現在国家的規模での同州開発計画が進められているが、特に沿岸漁業開発はその中心となっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 公社本部建物(キブド市)、資源部事務所(キブド市)、その他森林・漁業関係事業所(州内6箇所)、その他					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: タド市設置予定淡水魚養殖試験場技術顧問					
② 技術の範囲: 同試験場にて熱帯性淡水魚の養殖研究、地域農協への技術普及					
③ 業務の形態: チョコ州内陸部は、動物蛋白源に乏しく、その供給源として淡水魚養殖に期待を掛けている。業務としては、同試験場にて、淡水魚養殖の研究を行うと共に、地域農協への淡水魚養殖技術指導を行い、又、将来は農協の経済的基盤の一助とする予定であり、併せて市場調査、魚加工まで可成広範な業務となる。計画は既に具体化の所まできており、今年半ばまでに建設が始まることになっている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在のところ未定					
⑤ 現地で利用できる機材: 予算化終了。機材は無し					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当公社は、チョコ州地域開発の事業を行っているが、当地はコロンビアでも最も経済的に貧しい地域であり、公社も財源難でその経営が苦しいのが実情である。天然資源には割合恵まれており、金銀鉱山を始めとして開発が行われている。又森林・漁業資源にも恵まれているが、その運搬方法が未整備の為有効に活用できず、地域住民の経済的基盤向上のネックになっており、それらの総合開発を含めての日本からの地域住民への技術向上指導等、協力を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 淡水養殖実務経験三年以上					
※ 事務局記入					

210

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 2 月 6 日

調査者氏名 奥 村 浩 一

319 88009

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) MARICULTURA (日本語) 182. 海水養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1989 年 2 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION NACIONAL PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO-CODECHOCO-					
(日本語): チョコ州地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: CORP. NAC. PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO 日本語名称(チョコ州地域開発公社)					
所在地: Cra. 1A No. 22-96 QUIBDO, CHOCO 主要都市(キブド)から --- キロ					
③ 事業規模及び内容: 当開発公社は、チョコ州の地域開発事業に取り組んでいる。漁業部門ではソラノ湾に於てチョコ大学漁業学校と協力し地域漁民への技術指導を行っている。現在国家的規模での同州開発計画が進められているが、特に沿岸漁業開発はその中心となっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 公社本部建物(キブド市)、資源部事務所(キブド市)、その他森林・漁業関係事業所(州内6箇所)、大学所有ランチ2隻、船外機付ボート4隻、冷凍庫(4~5トン)、一般実験設備、その他					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: チョコ大学水産学部教授及びソラノ湾(太平洋岸BAHIA SOLANO市)事業所顧問					
② 技術の範囲: 同大学にてチョコ沿岸での海水養殖の研究及び試験養殖、将来は地域漁協への海水養殖指導					
③ 業務の形態: 同大学にて生徒に対し、海水養殖の指導を行うと共に、同地域での海水養殖の可能性について、研究を行う。又、地域漁協に、可能な範囲での養殖技術指導を行う。チョコ州沿岸は小規模な入江が多く、養殖可能な地域であり、それらの基礎資料作成等が当面の業務内容となる。可能であれば、将来、沿岸漁業から養殖へ切替えていく予定である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在のところ未定					
⑤ 現地で利用できる機材: 事業所所有船外機付ボート、ランチ、チョコ大学水産学部所有実験設備、教室その他					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当公社は、チョコ州地域開発の事業を行っているが、当地はコロンビアでも最も経済的に貧しい地域であり、公社も財源難でその経営が苦しいのが実情である。天然資源には割合恵まれており、金銀鉱山を始めとして開発が行われている。又森林・漁業資源にも恵まれているが、その運搬方法が未整備の為有効に活用できず、地域住民の経済的基盤向上のネックになっており、それらの総合開発を含めての日本からの地域住民への技術向上指導等、協力を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 海水養殖実務経験三年以上、及び漁業組合の経験者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 12 日

調査者氏名 岸 忠士

328 86109

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ドミニカ共和国	(現地公用語) <i>Tecnico Psicola</i> (日本語) 養殖 182	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CII-VIVIENDAS (日本語): 住宅整備開発協会					
② 隊員勤務先名称: CII-VIVIENDAS 日本語名称() 所在地: パラナ県エリタシ市 ロスヨス 主要都市(サントスピリト)から250キロ					
③ 事業規模及び内容: 低所得者のための公共住宅整備、開発、及びこれに関連した地域社会の開発、生活向上					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖技術の指導					
② 技術の範囲: 漁業(海水)及び養殖技術における専門的知識。と有経験。及び業務に関連した地域社会の発展につとめる					
③ 業務の形態: 南西部に位置する村落において、漁業に従事する18才~50才までの者に基本的知識から指導する。(漁法、漁具漁法、市場開拓)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 基本的技術保持者、18~50才					
⑤ 現地で利用できる機材: 自動車、ボート					
⑥ 第3国人等の配置状況: ドミニカ共和国からのボランティア1名(Habitat for Humanity)					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 海岸地帯、一貧村における人々の生活水準向上のための一手段として、漁業及び養殖を指導せよ。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 養殖事業地域に於ける技術経験者として 創意工夫ができる人。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 8 日

調査者氏名

堀田 康雄(語)

349 87030

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ポルトガル	(現地公用語) CRIA de Ostra (日本語) ナキ 養殖(182)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	4年 / 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CENTRO DE DESARROLL INDUSTRIAL (日本語): ポルトガル産業界開発センター					
② 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称() 所在地: ナキカトルバ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 中小規模の産業界開発・技術普及・研修を目的として団体での 合資会社を立ち上げ、ナキ部門・農林水産・教育・文化にまたがる事業を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: TECNICO. ナキ養殖担当技術指導員					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 現在 C.D. エカトルバ・ポルトガル(南部自治州)で手がけている ナキ養殖プロジェクト(最小規模)での試験・管理 を中心に、ナキ養殖担当指導員に対する基本知識の技術研修指導等。 本部に属し、定期的にナキ・ポルトガルに訪問し、ナキ養殖の 養殖場の管理・試験等の為、ナキ・ポルトガルに本拠地を置くことに なすことを目指す。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現段階では不明					
⑤ 現地で利用できる機材: 試験等に利用可能な機材はほとんどない。 不足は、養殖場のみ。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナキ					
⑦ 使用する言語: ナキ語					
⑧ 受入希望の背景と受入国の期待: ナキ・2年の間に全ナキを食わせる中継料理店を 又、スーパーにナキを置いておく時がある。ナキのほとんどが自然のナキで あるが、非常に高価で、ユルババドに輸入もする。金銭面から見てナキ養殖に 乗り出しているが、技術者が少なくて(ゼロ)。C.D. エカトルバは、南部沿岸のアウト リッチな地域を利用し、この単価の高い採金産物を中小農産民に導入しようと試みてい る。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産大学卒 ナキ養殖の理論・実務経験 3年以上					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 8 日

調査者氏名

坂田 康雄 (調)

349 87031

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
カメルーン	(現地公用語) CRIA de Camaron (日本語) (182)エビ養殖(海水)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CENTRO DE DESARROLLO INDUSTRIA (日本語): カメルーン産業開発センター					
② 隊員勤務先名称: PROGRAMA de Tecnología Rural 日本語名称 農村技術開発センター 所在地: ヤウサカビル 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 中規模の産業開発、施設技術指導普及を目的とした団体で、今般は中産、加工部門、農林水産、教育文化に力を入れている。P.T.RはC.D.Iの官轄に入るがエビ養殖のプロジェクトは独自の予算で行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: TECNICO. 養殖担当、技術指導員					
② 技術の範囲: 当分野での専門的知識を持つ、人数が少く、近隣国専門家に援助を受けているが、実際に養殖に携わる人はほとんど無知の					
③ 業務の形態: 打撃から始めているが、VAIVは良い。					
①. P.T.Rから融資を受けている12グループ(1名から20名程度)(最大20人)に運営管理指導助言を与える事					
②. P.T.R職員C.D.I職員に対して専門知識の技術指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在のところは不明。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現場(南部、カメルーン州サロレ)近所は系列機関に中国人専任家					
⑦ 使用する言語: フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 市場に売っているエビの価格からして、需要が非常に高くない。牛肉よりも高価であり、輸出はVAIVと見れば、外貨を稼ぐドル箱と云える。P.T.Rのプロジェクトは、小規模であり、当口は、この分野の知識人が居ない為、要請が出されて来たが、P.T.Rの期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (淡水エビ養殖)の全知識、東洋養殖2年以内、(水産大学) 権限のつくり、飼育、エビの作り手。					

※ 事務局記入

210

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

36486-026

記入 昭和 61 年 8 月 8 日

調査者氏名

堀川 満

182

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Piscicultura en dulce (日本語) 淡水養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年 9 月 62年 1 次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): La Universidad Nacional de Asunción (日本語): アスンシオン国立大学					
② 隊員勤務先名称: Piscicultura de Ciencias Veterinarias de la Universidad Nacional de Asunción 所在地: サンロレンソ 日本語名称(アスンシオン国立大学獣医学部水産学科) 主要都市(アスンシオン市から 13 キロ)					
③ 事業規模及び内容: 国立アスンシオン大学として、総合大学の体をしている。要請先は当大学獣医学部水産学科からのものであり、40名程の学生が学んでいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究室及び養殖池16。(内2は完成) / 池 15m x 5m 程度。 水槽(ガラス製 大小4)。写真添付					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 同水産学科教授 Dr. Gareano のもとで共同研究者及び講師。					
② 技術の範囲: 淡水魚に関する養殖法、栄養、病理学等全般にわたる知識・技術が必要。主に熱帯、亜熱帯に棲息する魚類を対象とする。研究対象としてカエル、ワニ等も予定している。					
③ 業務の形態: 同獣医学部水産科担当教授1名と4名の助手と共に主に大学最上級生の6年生約40名を対象に研究・指導するが、直接の授業は行わず、午前7~11時、午後2~6時の勤務時間内に随時指導に当たる。地方の淡水養殖研究所への出張指導も行う。 学生は将来獣医師になる為、その教育課程の中に養殖が含まれているものである。現在取り扱っている魚は、パラグアイ川、アト・パラナ川に棲息する熱帯魚、ピラニア、テラピア、カルパ等。他に食用カエル					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 4名の助手の内、1名をカウンターパートに充てる。当大学獣医学部卒、30才。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在施設を拡充・充実させている所であり、研究の為に必要な機材が十分揃っているとは言えないので、一部を携行機材として持参する必要がある。(携行機材リスト参照) 隊員用研究室有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語 (教授はフランス語も可)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同国は内陸国である為、国民の食生活は肉食及び毛類に偏っており、栄養摂取のバランスがとれているとは言えない。同国内には大河があり、川魚の種類は豊富であるが、食用として十分に利用されておらず、今後の研究により、有益な魚を養殖、普及させ、国民の食生活の改善に役立たせたいとしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学、水産学部、又は農学部養殖学科卒業) 当国の養殖専門家と知識面、技術面で対等以上に持たなければならないため次の点に因り、5~6年の経験が必要。淡水魚養殖に関する(孵化)、(栄養学)(病理学)に関する専門知識・技術。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

36786101

記入 昭和 62 年 3 月 20 日

調査者氏名 大岸保志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ノル	(現地公用語) ESTADÍSTICA PESQUERA (日本語) 水産統計 192	(新規) 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): UNIVERSIDAD NACIONAL AGRARIA - LA MORINA (日本語): ラ・モリーナ国立農科大学					
② 隊員勤務先名称: FACULTAD de PESQUERIA 日本語名称(水産学部) 所在地: Av. La Universidad s/n La Maxima 主要都市(ソマ市内)から キロ					
③ 事業規模及び内容: ソマ市内の農産農場、付属研究所を含む大規模なバスを 有しノルの水産学部内の最高学府である					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 2隻の定習船を有し、9人の指導スタッフがいる。 他にマイコン2台 - IBM-PC を持っている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 各種水産資料の統計、資料整備(コレクターとして) 又漁民に対して漁獲量調査指導を行う					
③ 業務の形態: 水産学部の資料センターに勤務し同センターの整備運営 資料の収録をカウンスラーとして行う。漁獲量調査も 行う。					
D 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
同大学年、水産経済学科の責任者 33歳 / Ing. Raul Tomalla Legala					
⑤ 現地で利用できる機材: マイコン IBM-PC.					
⑥ 第3国人等の配置状況: 水産学部にはなし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同大学水産学部は過去に協力隊(航海機士) 両名家(漁法)が派遣された。今回要請の水産経 済学科には今年で協力が打ち切られており、大学も今後 この分野の強化、拡充をほかにと計画している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学、経済学科年(水産に詳しい)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

046
87007

記入 昭和 62 年 9 月 8 日

調査者氏名 箱葉泰

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Pottery Making (日本語) 20/陶 磁器	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Municipality of Sta. Ignacia (日本語): サントイグナシヨ町					
② 隊員勤務先名称: 同上 所在地: 中央ルンターラック州サントイグナシヨ町 日本語名称(サントイグナシヨ町) 主要都市(タラック)から25キロ					
③ 事業規模及び内容: 24の村から構成される人口26772人の町で主たる収入源は米作りに依存している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別紙写真のとおり					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: プロジェクトオフィサー(陶芸)					
② 技術の範囲: 同町のナムバラン村(Nambalan)の陶器作りの改善にあたり。 (30軒で構成)					
③ 業務の形態: ナムバラン村で伝統的につくられてきた陶器(料理用土バカ中心)作りを、造形、口口の改善、焼成の改善をとり官質な品作りと製品のバラエティ化を目指す。技術の改善					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: サントイグナシヨの町・村民					
⑤ 現地で利用できる機材: 写真参照					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: ヒカノ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方の町村が収入増を図るため独自の計画したプランであり、協力隊員の参加により少しでも前進する事を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ・陶芸経験者 ・村開発に興味あり者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 3月 14日

調査者氏名 佐々木 聡

0x68f009

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フリゼン	(現地公用語) 陶磁器 (日本語) 20/ Ceramics	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年/2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial Polytechnic State College (日本語): ドン・マリア・マルコス記念国立工科大学					
② 隊員勤務先名称: Oroquieta City Institute of Cottage Industries 日本語名称(オロケタ市規模産業訓練校) 所在地: オロケタ市(ミンダナオ島) 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 同校は、カガヤン・デ・オロ市のドン・マリア・マルコス記念国立工科大学の分校で、3年前に設立された。現在、竹工芸、藤家具、金属工芸に39人の学生がいる。88年6月に陶芸コースを新設する。又、88年から、100人の学生に奨学金を出すので学生数の倍増が見込まれる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 陶芸コース用教室。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 陶芸教師					
② 技術の範囲: 土の選別から成形、焼成まで。釉薬の調合もできる事が望まれる。					
③ 業務の形態: 2年制のコースで学生(16才~20才位)に指導する他、近隣の人々にも短期のコースを南講する。学生数は25~30人を予定している。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 経験は4年程あるが、陶磁器作製について正規の教育を受けていない。24才。					
⑤ 現地で利用できる機材: ミル, 3く3(2), 手く3, 電気窯, 土粉研機, 型, 計り, 成形道具一式,					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ビサヤ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同校は、地域の小規模産業を育成する主旨で3年前に設立された。現在、本校に陶芸機材があり、今年から、オロケタで活用する予定である。日本は陶芸の本場という事で、JOCVには、コースの設立から参画してもらい、学生、地域住民、カウンターパートと広く陶磁器普及に協力してほしいとの期待を持っている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (地場にある材料を使う経験豊かな人。)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 1 日

調査者氏名 藤野

05586013

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) CHINA WARE	新(規)	(男) 人	62年 月 早い時期	
	(日本語) 201陶磁器	交替	(女) 人 (男女別) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of education
(日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: The institute of technology and vocational education 日本語名称(技術職業高等専門学校)
所在地: チェンマイ県チェンマイ市 主要都市(バンコク)から750キロ
- ③ 事業規模及び内容: 合同に24校ある360名を2校に、63大いんの専攻で工業系学科と商業系学科がある。生徒数は3000名、教員数200名である。陶磁器学科は教員は1人である。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 陶磁器科の教師
- ② 技術の範囲: 材料に関する知識が求めらるという。換言すれば、粘土の材料に関してその作り方を知らなければならない。
- ③ 業務の形態: 実習場の改善、タイ人教師の質の向上、生徒への指導が日頃の仕事である。もう一人受講のタイ人学生(3名)に強い隊員と協力して、特に実習場及びタイ人教師の能力向上に力を入れた。陶磁器専修科全体についてその知識をいかに広げることが、自らでも材料の研究に仕事に中心点を置くことである。

⑤ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 卒業、日本での研修経験がある。

⑥ 現地で利用できる機材: 一応3台はすべての機材にそろえている。

⑦ 第3国人等の配置状況: 協力隊員4名、ドイツ人1名

⑧ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 多少は強い隊員と材料に強い隊員に来てほしい。弱点であるそのほかの分野を向上させるという希望である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

短大卒以上
経験5~17年
年齢25~30才

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 2 日

調査者氏名

堀内好夫

(14988001)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Céramique (日本語) (201) 陶磁器	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de Promotion Professionnelle (日本語): 社会事業省職業訓練局					
② 隊員勤務先名称: Centre de Formation Professionnelle de EL JEM 日本語名称(エム・ジエム職業訓練センター) 所在地: Rue Mohamed Ali 5160 EL JEM 主要都市(チュニス)から185キロ					
③ 事業規模及び内容: 1970年に設立された同訓練センターは敷地面積12ヘクタール、生徒数104名、教官数10名、16才以上の青年が全寮生で2年間訓練を受けた職業訓練校である。9つの科をもっている。資料の予算は今年約720万円である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官(Formateur)					
② 技術の範囲: 陶磁器の製造技術一般, デザイン					
③ 業務の形態: 隊員は午前8時から12時まで午後13:30~16:45までの月曜日から金曜日まで週32時間勤務することになる。そこで同僚のチュニジア人とともに10名前後の学生に教官として技術指導を行なう。水はたまに断水だが、それ以外の問題は在り。水質は硬水で石がわり。塩分が多少含まれている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生10名前後、16才以上、素人、カウンターパートの経験年数は8年					
⑤ 現地で利用できる機材: 3x3 機械 Shimpo WHEEL 21 3台 Naber (ドイツ製) 焼ガス / Ratcliffe					
⑥ 第3 国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 仏語、(チュニジア方言アラビア語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
日本の陶磁器技術は世界的にも有名であり、その技術の一端をチュニジアの陶磁器技術に取り入れ、観光収入を上げたいと考えている。チュニジアには比較的有名なナポール焼というものがある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(実務経験4年以上)					
※ 事務局記入					

2-0

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 8 日

調査者氏名 和泉 守

221-88-012

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Ceramics	新規	(男) 人	64年 3月	
	(日本語) 実業)陶磁器201	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ethiopian Tourism Commission (日本語): エチオピア観光委員会					
② 隊員勤務先名称: Ethiopian Tourist Trading Corporation 日本語名称(観光商業組合) 所在地: Addis Ababa 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: Ethiopiaの観光用品の生産販売 輸入免税品の販売 隊員の配属される production Division は 8 課に別れており 人員約140名である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 扇気窯(イギリス製)、ロクワ(原産、4リ) 土練機、ポットミル。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 陶磁器に関する全般的な知識 耐火度陶磁器の製作技術(酸化焼成のみ)					
③ 業務の形態: Ethiopiaの古い陶磁器を基本とした、新しい陶磁器のデザイン、 新しい技術のアドバイザー、量産品へのアドバイザー、 展示即売会の企画。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学歴 グレード6以下 技術水準と17は低くない。 30才代					
⑤ 現地で利用できる機材: 扇気窯、ロクワ、土練機、ポットミル。					
⑥ 第3国人等の配置状況: production Division Head は フランス人					
⑦ 使用する言語: アムハラ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 陶器の需要が多いが、実業がそれ程発達していない。 エチオピアの伝統文化を継承し、実業技術の発達を 期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 専門学校卒以上 3年以上の実務経験者					
※ 事務局記入					

221

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

8A-024
8A-025

記入 昭和 63 年 3 月 7 日

調査者氏名

飯塚 駿介

273-
273-

(201)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) CERAMICS (日本語) 201 陶磁器	新規 <u>交替</u>	(男) 2 人 (女) 0 人 (男女不問) 2 人	63年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): PRIME MINISTERS OFFICE					
(日本語): 総理府					
② 隊員勤務先名称: KIRIHANTARO REGIONAL DEVELOPMENT OFFICE 日本語名称(キリマンジャロ州府)					
所在地: キリマンジャロ州 ラー村 主要都市(モシ)から100キロ					
③ 事業規模及び内容: 現在日本の協力によりモシ市内にKIDCプロジェクトが行われており、その中心に 農業の中心を置き、各郡の村への直接指導を行っている。ラー村もその一つで、現在レンガ、土鍋 フアゴット、土管、七輪等の製作を村の現金収入に役立っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): レンガ工場 職人の8人、他					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 村民及び工場ワカの技術指導、また工場運営のマネージャーにもたずかせる					
② 技術の範囲: 農業に対して全知識の若い人々を対象としてできた村営工場であり、そこで働く人々 を指導するためには、幅広い技術、知識が必要である					
③ 業務の形態: 村民と共に工場で働きながら知識及び技術の普及に努める					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 村の隊員が農業について全知識の村民の中 から育てた人材がある。					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要最低限の機材しかないが、現在夏空土練機を機材申請中である					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 何にもなかった所に工場を建て、レンガ新開では、最初の3倍の生産 量をおけるようになった。今後は、質の向上、生産量増の目的で、技術指導者として、また、レンガ 新開の技術指導者として期待されている					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 専門学校卒以上 経験2~3年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

追加

記入 昭和 63年 3月 22日

調査者氏名 山根芳枝

31988-019

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コロンビア	(現地公用語) ceramista (日本語) 201 陶磁器	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Universidad Nacional de Colombia (日本語): 国立コロンビア大学					
② 隊員勤務先名称: Universidad Nacional de Colombia 日本語名称(国立コロンビア大学) 所在地: Carrera 30 Calle 45 主要都市(Bogota)から 0キロ					
③ 事業規模及び内容: 総合大学					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 陶磁器教師					
② 技術の範囲: 陶磁器、理論・技術全般に渡り指導					
③ 業務の形態: 週に2回、陶芸学科の生徒にロクロを中心とした技術を教えている。 週に1回、専門外(彫刻学科、版画学科...etc)の生徒に基本的なロクロの技術を教えている。週に1回、作業療法士養成学科(医学部)の生徒40名余に手回りを教えている。年に何回か日本陶磁器の歴史・伝統技術について講義する。高火度焼成窯の築窯。					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 陶芸学科卒業者程度 30前後の年齢					
⑤ 現地で利用できる機材: 電動ロクロ5台、足踏みロクロ1台、手回しロクロ5台、電気窯(1080℃)大1台 釉薬実験用小型窯5台(1080℃)					
⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ人教師1名					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 全般的に低い陶磁器レベルを上げる。民芸品・工業製品と評価され易いロクロ製品の美術的評価を得よう努める。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学: <u>美術系学部</u> 卒業者、陶磁器学科が宜しい 高火度釉; 伝統技術(含ロクロ技術)に詳しい。					
※ 事務局記入					

223

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 2 月 10 日

調査者氏名

34088006

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
グアテマラ	(現地公用語) CERAMICA	新規	(男) 1 人	63年12月	
	(日本語) 陶磁器 201	交替	(女) 1 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE TRABAJO, INTECAP					
(日本語): 労働省 職業訓練庁					
② 隊員勤務先名称: INTECAP 日本語名称(職業訓練庁)					
所在地: グアテマラ市 主要都市(グアテマラ)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 一次産業(森林産)・二次産業(工業)・三次産業(商業)に分れ、それぞれ労働者への技術指導を行っている。常設の訓練校は5校有り。その他、市町村のリエストに臨時の訓練所を開設している。年間の受講者は約800人。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 職業訓練所陶磁器コースのインストラクター					
② 技術の範囲: 現在は国内で作られている陶器は土質に問題があるため、よく壊れやすい。そのため良質の「土」の調査・発掘と、他、陶磁器作りの全般的な技術指導。					
③ 業務の形態:					
当国は、「土」の調査・発掘を行うことが主な業務となる。					
その後、あるとき同時並行で、INTECAPの職業訓練所においてより良質の陶磁器作製の技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 西語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在グアテマラで作られている陶器は、デザイン的には民芸品として興味深い物があるが、材料・作製技術の面では、劣っている感があるため、より良質の陶磁器作りのノウハウについて、協力隊員に期待する点は大である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
陶磁器作製にあたっての材料「土」に関する基礎的な知識及び陶磁器作製の全般的な知識(特に学、経験は向かない。)					
○ 材質(土)分析が出来ると。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 3月 日

調査者氏名

丸田 秀士

41388005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名数
PNG	(現地公用語) CERAMICS	新規	(男) 1人	63年3月	
	(日本語) 201 陶磁器	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): DEPARTMENT OF EASTERN HIGHLANDS, DIVISION OF COMMERCE (日本語): 東ハイランド州 商工局					
② 隊員勤務先名称: EASTERN HIGHLANDS CULTURAL CENTRE 日本語名称() 所在地: KAINANTU 主要都市(ラエ)から200キロ					
③ 事業規模及び内容: 当地で陶磁器の生産を始め、羊毛と皮革の織物、 Tシャツのデザイン、作業服(200) 販売している					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 作業場(陶磁器、織物)、展示場、事務所					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: イニシアチブ					
② 技術の範囲: 1. 原料の選別、2. 陶磁器の生産、3. 加工(加工、ジレット、電気、塗装)の管理					
③ 業務の形態: 1. 11313年種類の織物、陶磁器と生産工程の技術的可能性を測定する 2. 地産特産の素材の原料の評価を行なう 3. ナショナルセンターへの技術指導 4. 国内、他国からの技術情報のまとめ					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 陶磁器と作成工程の一般的用具					
⑥ 第3国人等の配置状況: 5人					
⑦ 使用する言語: 英語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 東ハイランド州において現在では、木材、 エッパ(一部だけ)で生産されている陶磁器では、 が、将来、州内の1137000に作業場を設け、 陶磁器の技術が高レベルで、日本人に期待 は大まか。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 経験 2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

108

記入 昭和 62 年 12 月 14 日

調査者氏名

八木 明 生

03186108

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
マレーシア	(現地公用語) Bamboo Handicraft (日本語) 竹工業 2人	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Federal Land consolidation and Rehabilitation Authority (日本語): 連邦土地統合再建公団					
② 隊員勤務先名称: FELDA Ulu Berang 整備 日本語名称 (FELDA) Ulu Berang) 所在地: Ulu Berang, Trengganu 主要都市 (Kuantan) から 20 キロ					
③ 事業規模及び内容: FELDA Ulu Berang は 国家後援の小規模植林 (連邦) による 4700 ไร่ 植林 更に 結果として 植林関係の発行及び計画等 20 スキームに 現在 7000 ไร่ 程度 あり。主な カカオ ココア 及び 木炭 生産 計画 あり。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 現在 建設中 年次完成予定 基礎的植林材は 輸入予定					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工業教師					
② 技術の範囲: 生産物 市場 販賣 目的の竹工業 一般に 植林者 指導 育成 FELDA 及び マレーシア 政府 管理 運営 した 計画 及び 育成 目的 あり 植林 竹 工業 あり					
③ 業務の形態: 商品 販賣 及び 生産 目的 あり 指導 指導 対象 及び 植林者 育成 現在 竹 工業 産出 物の 研究 開発 及び 販賣 目的 あり 指導 育成 目的 あり 植林者 育成 及び 指導 育成 目的 あり 竹 工業 及び 日本 竹 工業 同 様 あり あり。 及び 現在 竹 工業 は 一部 地域 及び 輸入 販売 あり 計画 及び 育成 目的 あり 一 律 生産 及び 販賣 目的 あり					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 20 年前 植林者 育成 運営 管理 FELDA マレーシア 政府					
⑤ 現地で利用できる機材: 基礎的植林材は 準備 あり					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 女性 生産 及び 指導 育成 目的 あり 指導 育成 目的 あり 及び 指導 育成 目的 あり 指導 育成 目的 あり 指導 育成 目的 あり 指導 育成 目的 あり					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 竹 工業 経験 1 年以上 アイデア 豊富 あり 工業 及び 指導 育成 目的 あり 指導 育成 目的 あり					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

77-109

記入 昭和 62年 3月 15日

調査者氏名

西村喜継

03186109

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) bamboo crafts	新規	(男) 人	63年3月	
	(日本語) 210 竹工芸	交替	(女) 1人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Development Authority (Felda)					
(日本語): 連邦土地開発公団					
② 隊員勤務先名称: Felda Trolah Selatan					
所在地: 総 主要都市(KL)から110キロ					
③ 事業規模及び内容: Feldaはシンガポールを隣国とし、ゴムや油ヤシのプランテーションを行なう入植地を300以上持った公の機関。1入植地には300~500戸の入植者が居住し、ゴム、油ヤシにより生計を立てている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
竹工芸に関する設備はない。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工芸の先生。					
② 技術の範囲: 竹を利用した販売目的の工芸品の製作ができる。竹の性質に合った商品開発ができればなお良い。					
③ 業務の形態:					
Felda入植地の主婦を対象に、竹工芸のクラスを開き教えると共に、優秀者を組織して販売用竹工芸品製作のためのワークショップの開設及び運営を指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
対象者は入植者婦人。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
簡単な道具類。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
なし					
⑦ 使用する言語:					
マレーシア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ゴムや油ヤシの価格の下落により、Feldaとしては副収入の道を模索しており、婦人の副収入源として織工芸、手芸等が奨励されており竹工芸もその一環として販売用を目的に期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
竹工芸の業務経験1年以上。					
※ 事務局記入					

227

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

046
82010

記入 昭和 62 年 9 月 7 日

調査者氏名 箱葉泰一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Bamboo Furniture Making (日本語) 210竹工芸	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Municipality of Sta. Ignacia (日本語): サタイクグニア町					
② 隊員勤務先名称: 同上 所在地: 中央ルソン, タラック州サタイクグニア町 日本語名称(サタイクグニア町) 主要都市(タラック州)から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: 24の村から構成される人口 26772人の町で主たる収入源は 米作に依存している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別紙写真の通り					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: プロジェクオフィサー(竹工芸)					
② 技術の範囲: 同町のサブランスミス村を中心に竹資源を利用し村人に 竹工芸を指導する。					
③ 業務の形態: 豊富な竹資源を単に業者へ売っていただく現状であり、竹を利用し 家内工芸の中心として、農民の収入増を図るため、竹工芸を 教える。 全くゼロからの出発である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: サタイクグニア町、村民					
⑤ 現地で利用できる機材: 竹工芸に必要な最低限の機材は日本から持参のこと。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 他カノ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方の町村が収入増を図るため、独自の計画(を)プランであり、 協力隊員の参加により少しでも前進が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 竹工芸の経験者 村関係に興味ある者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 7 日

調査者氏名

佐尾 小 有 二

046
87011

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Bamboo Craft	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語) 竹工芸	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ruperto K. Kangleon Memorial Agro-Fishery Technical Institute (日本語): ルハート カンレオン記念農水産技術大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)					
所在地: Bamboc, Southern Leyte 主要都市(ゲロバン)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: 教員数30名、生徒数610名(高校生-500名、大学生110名)、年間予算1,500万円程の小規模大学。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別途写真及び Students Handbook 参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術顧問					
② 技術の範囲: 竹・藤工芸、各工芸品の製作技術。					
③ 業務の形態: 現地で入手できる原材料を利用し、竹・藤工芸品の製作に係る技術指導をカウンターパートに行なう。 これと並行し、家政科の生徒及び周辺農民への技術指導をカウンターパートと共に行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者: 女子高生及び周辺農民、カウンターパート: 18年間手芸を教えている。但し、竹・藤工芸の技術は、有1名のみ。教育学部修士卒。40才前後。女性。					
⑤ 現地で利用できる機材: JICAの無償資金協力により、木工・木工分野の機材が提供される。別途提供機材リスト参照。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、セブアノ語(セブ島と同一言語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 手芸を中心とした授業を行なっている同校家政科に竹・藤工芸を導入することにより授業内容の充実・向上が求められている。 これと並行し、半農半漁として生活している周辺農民に竹・藤工芸技術を伝授することにより増収の機会を、生活改善の一助となることを期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(基本的な竹・藤工芸品の製作が可能)。					
※ 事務局記入					

2079

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和62年3月10日

調査者氏名

山崎 昇

22986102

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) BAMBOO CRAFT (日本語) 210竹工芸	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	63年3月 (88)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): NATIONAL VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE (日本語): 国立職業訓練機関					
② 隊員勤務先名称: Keta Ho Catholic Diocese, HO (日本語名称(竹工、木匠士教区)) 所在地: HO (ボロウサワ) 主要都市(Accra)から150キロ					
③ 事業規模及び内容: 木工や婦人子供衣服等のコースを持つ小規模の職業訓練所である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): わらぶを屋根に土ブロックの壁を主にして極く簡素な校舎一つとんじらである。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 日用品のバスケット類からおみやげ用品等輸出に耐えられる品質の物を作る。初めての試みであり何を飾りか仕仕後の					
③ 業務の形態: 生活、交通等の便利に地域に定住(ベースキャンプ)して隣の職訓を巡回し一定期間が満了するまで滞在して地元の人達に指導する。必要に応じて技術の指導を行う。 なお、指導内容、方法、巡回スケジュール等は仕仕後に現場で決められる。現場のニーズに合わせた形のものを作ることにする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 職訓2程度、20歳〜40歳程度までの国。(初級は初めのコースであり詳細不明)					
⑤ 現地で利用できる機材: エンジンや同僚の援助に手工具が主で、この地帯での竹工芸は初めての試みであり工具の運搬は仕仕後に行なう。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 零細農、漁民の子供(子女)を中心に手に技術を習得させ自身の道を開くこと、地場産業を育成することにあり					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 上記の技術の範囲業務の形態、相互間の期待等に柔軟に対応出来る創造性豊かな人材であること。業務経験については特に問われない。赤い心と自信をもち取組む心意のある人。					
※ 事務局記入					

課題である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

36486-111

記入 昭和 62 年 2 月 2 日

調査者氏名 小畑 泰之

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Trabajos de Bambu (日本語) 竹工芸	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63年2月 62年度2次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Justicia y Trabajo (日本語): 司法省付有					
② 隊員勤務先名称: Servicio Nacional de Promoción Profesional (SNPP) 日本語名称(職業振興局)					
所在地: アソンプション市 主要都市()から キロ					
③ 專業規模及び内容: 人材育成、労働者の教育、地方開発に貢献する中堅技術者を養成を目的として世界の発展途上国に設立された職業訓練機関、アソンプション市の中心にあり、その下に職業訓練所を有し、職業訓練所は約1億円					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 管理棟、木工機械、電気、印刷等の研修棟、格闘教室用の特殊車輦が1輦あり、地方での巡回指導に活用されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 専門技術者の指導員					
② 技術の範囲: 藤、竹を用いた民芸品、生活用品の製造、技術指導全般					
③ 業務の形態: 豊富に成材の竹を利用した民芸品、生活用品の開発と生産に力を入れ、から始め、受入態勢が整えば生産を指導し技術指導等を行おう。アソンプション市の育成も重要な任務とする。					
() 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 竹工芸の研修コースが好んで、アソンプション市に在住し、専門資格は無くとも、技術に未だ経験者					
⑤ 現地で利用できる機材: 現地にないものは無い。備品は備品、機材は相対的に、木工用材料、ラインソーその他必要材料を揃えている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 近隣の日本企業(印刷)、その栽培、陶磁器の製作等					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本国には、豊富に竹資源があるが民芸品工業品の素材としての利用は無い。年々増大するパラグアイ、ブラジルからの移民の土着化にともなう労働力を開発し、地場産業の育成に資したいという。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(業務経験 2年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 41 年 9 月 11 日

調査者氏名

八 林 明 生

03/86020

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Forestry Instructor (日本語) 森林 木 工	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	41年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Home Affairs (日本語): 内務省					
② 隊員勤務先名称: Drug Treatment & Rehabilitation Centre 日本語名称(麻薬治療センター) 所在地: DUSUR SEMENTI, Sg Petani, Kedah 主要都市(アタラ)から 45 キロ					
③ 事業規模及び内容: 麻薬中毒患者の治療及びリハビリを行う。本年5月に始まった新しいセンター。12月から25名程度の入所者は復帰後就職の場をつくつべく職業訓練指導員を養成。職業訓練指導員は 2コースは 4ヶ月コース、1コースは 2ヶ月コースで行なう。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各センターは最低2年入所と併せて差宿泊所、体育館、職業訓練用施設、娯楽場等がある。軍倉、建物、植外観。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 講師					
② 技術の範囲: 基礎的な隊員の理論、実技指導。アンプを動かした製作や要請して使う 道具の使用から完成迄。					
③ 業務の形態: 1日2コース 40人訓練室。理論20%、実技20%。調査時点では教師の赴任は不明。一般的に教育省から出向教師の中に12名の職種と同じコースを制作。入所時から右の項目に担当を制作。担当は指導員を養成し、その後は4班を順次職業訓練指導員養成を行なっている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 既婚かつ年齢不詳であった者不明。本省からは同僚教師をカウンターパートにする場合。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無 但し 担当部科にはASEAN各国から実習に来る学生が居る。					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マレーシアの麻薬中毒患者は10万人(一般には20~30万人)、ヤングの若者の多くを占める。麻薬屋は人殺しの法律がある等厳しく取締られているが年々増加している。今年度から2000人程度の入所とあり、退所後の再入所の高率(30%程度)を望み、再発防止に努めることと担当局長が内務大臣に働きかけ、同様の協力要請を要す。自らの要請の公費化に努めようとした程、期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高専卒程度以上の教育経験のある者。及耐強くカウンターパートの経験があることが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

04088021

記入 昭和 63 年 9 月 23 日

調査者氏名 鮎川 遼

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Wooden Educational Material (日本語) 211 木製教材(木工)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	64年 10月 3	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Industry, Dept. of Cottage & Village Industry (日本語): 工業省 家内工業局					
② 隊員勤務先名称: Handicraft Production Division 日本語名称 甲細工生産部) 所在地: カトマントウ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 家内工業局はカトマントウ本部にある。技術訓練部(200名)と、生産部、手細工生産部と 4 地域(南都事務所及びワオテスタウ外南都事務所)から成る。ネパールの家内工業振興に努めたい。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 3rd class Officer.					
② 技術の範囲: 木製教材の知識, デザイン能力, 試作品の作成能力.					
③ 業務の形態: 木製教育教材の調査・研究を行う。ネパールの教育に適した教材の選定, デザイン, エキルの製作を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 隊員取属時決定					
⑤ 現地で利用できる機材: あり					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
教育用教材がほとんどないネパールにおいて, 木材を利用して子供用教材(積木, アルファベット, 算数用等)の開発は重要である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 高校卒以上 ○ 技術の範囲の能力がある					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 2 日

調査者氏名

堀内好夫

(14988002)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Ebenisterie (日本語) (211)木工(家具製作)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de Promotion Professionnelle (日本語): 社会事業省職業訓練局					
② 隊員勤務先名称: Centre de Formation Professionnelle en 日本語名称(家具職業訓練センター) 所在地: Centre d'ameublement Monastrie (ameublement) 主要都市(テニス)から15キロ					
③ 事業規模及び内容: 1968年に設立された同訓練センターは木工関係の職業訓練所で、生徒教95人、教員7名、技術科の高校を卒業した17才以上の青年が訓練を受けている。60の科があり、クラス15名、18ヶ月間4824時間の授業					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): を受講することになっている食堂、寄宿舎があり、すべて無料。 写真参照。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教員					
② 技術の範囲: ベッド、机、戸棚、椅子等のデザインからはじまり、加工、仕上げまで					
③ 業務の形態: クラス15名程度の学生に対し、月曜日から金曜日まで週32時間約一年半(18ヶ月)合計4824時間教える。家具製作科は3つのエリアがある。機械加工と手加工の時間があり、基礎から応用まで一通り教える。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 17才以上で、高校の技術科を卒業しているため、素人では居り。					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんどそろっており肉題ない。機械は主に1977年製 F9a VS-35, FC 510, 他 フラズ、ドリル機が多数ある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 仏語、(チュニジア方言アラビア語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
当国では青少年の雇用、失業対策が一番大きな肉題となっており、その一環として職業訓練に力を入れており、今回の要請もその延長にある。さらに日本の木工技術を導入し、技術レベルを高めたいと望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
家具デザイン、加工、仕上げの経験、3年以上					
※ 事務局記入					

224

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 2 日

調査者氏名 堀内好夫

14988003

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Sculpture sur bois (日本語) (211)木工(木彫刻)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de Promotion Professionnelle</i> (日本語): 社会事業省職業訓練局					
② 隊員勤務先名称: <i>Centre de Formation Professionnelle en ameublement</i> 日本語名称(家具職業訓練センター) 所在地: <i>Centre d'ameublement Monastir</i> 主要都市(チュニス)から152キロ					
③ 事業規模及び内容: 1968年に設立された同訓練センターは木工関係の職業訓練所で、生徒数95人、教員7名、技術科の高校を卒業した17才以上の青年が訓練を受けている。6つの科があり、クラス15名、18ヶ月間1824時間の授業					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): を受講することになっている食堂、寄宿舎があり、すべて無料。 写真参照。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: 木彫刻の基礎から応用、デザイン					
③ 業務の形態: クラス15名程度の学生に対し、月曜日から金曜日まで週32時間約一年半(18ヶ月)合計1824時間教える。 はい生徒は木彫刻の基礎を実習を通して学び、最終的にはルイ14世紀時代のイスの彫刻、カクラン、境のカク等の彫刻技術等まで勉強する。したがって隊員は木彫刻一般技術からヨーロッパスタイルの彫刻まで手がけることとなる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 17才以上で、高校の技術科を卒業しているため、素人では有り。					
⑤ 現地で利用できる機材: ノミ一式(18種類)は各生徒1人々に貸し出している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 仏語、(チュニジア方言アラビア語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
当国では青少年の用、失業対策が一番大きな問題とされており、その一環として職業訓練に力を入れている。今回の要請もその延長におき、さらに日本の木彫刻技術を導入し、技術レベルを高めたいと望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 経歴 4年以上					
※ 事務局記入					

238

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 2 日

調査者氏名 山下 煥治

413 87015

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Carpentry	新規	(男) 1 人	62年7月	
	(日本語) 211 木工	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): SOIYA PRIVATE SCHOOL, Madang Province					
(日本語): マダン州・ソイヤ私立学校					
② 隊員勤務先名称: 同上					
所在地: マダン州, ソイヤ組					
③ 事業規模及び内容:					
事情により学校とドットポイントに少人数に対する再教育と目的とする。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Teacher (先生)					
② 技術の範囲: イス、ベッド、机などの製作技術					
③ 業務の形態: 生徒に対して、一般に需要の多いベッド、イス、机などの製作技術と伝授する。またその為の教材を作成する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 基礎的な木工道具					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語, ヒンディ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
俗に云う通り少人数の少人数が、手に職を持つことで社会生活に専らできるという信念を持つ。存在家により設立された学校である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 木工経験 2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 3月 9日

調査者氏名 中村 雄彦
山, 林 育夫 (詢)

310
No. 88-016.

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリビア	(現地公用語) Artesanía de Cuero (日本語) 213 皮革工芸	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	64年5月	
(1) 配属先 Corporación Regional de Desarrollo de Santa Cruz, サンタクルス県南条公社					
① 配属先名称 (現地公用語): Centro de Investigación Diseño Artesanal y Comercialización Cooperativa (日本語): サンタクルス民芸品商業化センター研究所 (CIDAC)					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)					
所在地: M. Ignacio Salvatierra 407, Santa-Cruz 主要都市 () から キロ					
③ 事業規模及び内容: 所員8名 + コーディネーター2名 + ボランティア3名 + (奨学生6名) サンタクルス市内で民芸品の販売, 及び, 州内の民芸品製作の指導普及, 改良, etc.					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): サンタクルス市内に事務所兼販売所 1, 製作所 1, コカ村に民芸品普及の為の教室 1, プエルト村, フラヨ村にそれぞれ教室を建築中					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 普及指導員					
② 技術の範囲: 皮革に関してすべて知っていることが望ましい。					
③ 業務の形態: サンタクルス州内の皮革製品製作の指導普及, 改良。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は現在州内で皮に関する仕事を 行なっている人, 並びに地方の村の仕事を持たず, 皮に関しても素人の人々。					
⑤ 現地で利用できる機材: 無					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 西語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: サンタクルス州には多数の牛が飼われているが, その皮革を利用し商品化しているのは ごくわずかである。市場に出ている製品も概ね技術, 加工技術が未熟な為, 品質 は粗悪である。そこで, 優秀な技術を導入することにより, 皮革産業の普及を はかるものである。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): (皮に関するすべての知識)があり, 機材類のないところから指導できる					
* 事務局記入					

237

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 2 日

調査者氏名

堀内好夫

(14988017)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Bijouterie (日本語) (215) 貴金属装身具製作	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64 年 2 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de Promotion Professionnelle (日本語): 社会事業省職業訓練局					
② 隊員勤務先名称: Centre de Formation Professionnelle de EL JEM 日本語名称(エム・ジエム職業訓練センター) 所在地: Rue Mohamed Ali 5160 EL JEM 主要都市(チュニス)から 185 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1970年に設立された同訓練センターは敷地面積12ヘクタール、生徒数104名、教官数10名、16才以上の青年が全寮生で2年間訓練を受けた職業訓練校である。9つの科をもっている。資料の予算は5年約720万円である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官(Formateur)					
② 技術の範囲: 貴金属加工、主に銀、金、サンゴ組工加工による装飾品(ネックレス、イヤリング、ブレスレット、指輪)を作る技術					
③ 業務の形態: 隊員は午前8時から12時まで午後13:30~16:45までの月曜日から金曜日まで週32時間勤務することになる。そこで同僚のチュニジア人とともに10名前後の学生に教官として技術指導を行なう。隊員は銀組工、金組工、サンゴ組工などによる装飾品を作る基礎技術から応用まで(デザインも含め)幅広く指導することになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生10名前後、16才以上、素人、					
⑤ 現地で利用できる機材: 貴金属加工に必要な機材は一通りそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 仏語、(チュニジア方言アラビア語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
チュニジアの装飾品は結婚式や観光客によって注目されているものがあるが、日本の貴金属加工技術を取り入れることによりさらに収益をあげたいと望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(実務経験4年以上) ○(専門学校卒)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 10 月 8 日

調査者氏名 飯野一男

05586104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) METALLURGY	専規	(男) 1 人	62年 月 早い時期	
	(日本語) 230 冶金	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): ministry of education
(日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: JICA institute of Technology and vocational education 日本語名称(技術職業高等専門学校)
所在地: ナコンラチキスラー県 education 主要都市(バンコク)から 200 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 主に技術系の科目を教える学校で、生徒は約 2500 名、教員は 150 名程である。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 一般教師と同じ位置
- ② 技術の範囲: 冶金学一般について、理論と実践を教えること。
- ③ 業務の形態: この冶金コースは機械科に属する単独の専科ではない。即ち機械科の生徒が全員の基礎は学ぶコースに、この冶金コースは存在しない。この冶金コースは、専科と力を入れて来たが、隊員には基礎実験を卒業生がやる必要はないと希望している。基礎の熱処理を正しく導入し、新しいことと又、角野君の改善も、タイ人教師と協力して行なうこと、教材の改善なども仕事である。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 卒業生

⑤ 現地で利用できる機材: 電気炉(熱処理用) 2 台、かたさ試験機、顕微鏡 2 台がある。

⑥ 第 3 国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 基礎専門が古くないので、協力して学ぶというところ。特に、この専科も冶金の分野に立ってほしいので、期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒
経験 5~17 年
年齢 27~45 歳

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 2 月 11 日

調査者氏名 和泉 守

22-88-011

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エリボア	(現地公用語) Metal work	新規	(男) 1人	64年3月	
	(日本語) 220 治 金	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Labour and Social Affair					
(日本語): 労働社会事業省					
② 隊員勤務先名称: Children Amba					
所在地: エリボア					
日本語名称(インバ子依村)					
主要都市(アディス)から 210キロ					
③ 事業規模及び内容: 被災孤児の養護と教育を目的とした村である。					
4200ヘクタールの敷地を5つの村に分けており、子供の数約5000人					
自給のための圃場や商店など学校備17ある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 6~8棟の村2ヶ所、7~18棟の村3ヶ所。					
各村に宿泊棟、教室、クリニックがある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: メタルコースの教師					
② 技術の範囲: メタルワークの知識、技術、それ程高度な技術は必要としない。					
③ 業務の形態: 5村のうち1村、メンギスフ、ハイマリヤム高校のメタルコースの					
教師として、メタルコースを監修した生徒にたいし、					
実習業務、レクチャーを行い、指導を行う。					
技術高校ではないので正式なメタル村ではない。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: グレード ~ の生徒					
14~18才					
⑤ 現地で利用できる機材: スライドプロジェクター、メタルワーク用手工具					
⑥ 第3国人等の配置状況: キューバ人					
⑦ 使用する言語: アムハラ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
鬼れない子供達に何らかの技術を習得させ、社会に出、3カ国					
を子依村の重要課題である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
専門学校卒、経験3年以上					
※ 事務局記入					

220

青年海外協力隊派遣受入希望調

早夏列

記入 昭和

調査者氏名

平沢 昭男

03/8602/

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Laundry (日本語) 231 鋳造	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 人	年 月 6 12	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (Kementerian Pelajaran Malaysia) (日本語): マレーシア文部省					
② 隊員勤務先名称: Politeknik Ungku Omar, Ipoh 日本語名称(体一技術工芸短大) 所在地: Jalan Dairi, Ipoh, Perak 主要都市(体一市内)から 5キロ					
③ 事業規模及び内容: 電気機械土木建築商業の4科を擁し、学生2,000人、教員が250人いる。 政府機関及び民間企業の中級技術管理者以上の人材を養成する短大で、船舶工学コースで修業期間が27ヶ月、1年目の約半年間の工場実習の義務が伴う。生徒は日本の学校で					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 3ヶ月高枝2年を修了して入学資格を得た。製造工場にはボヤ(開口面の炉の炉内径約350mm、炉高約1800mm、前炉1台、反射炉(電炉)1台					
(2) 隊員の業務内容 3ヶ月は、電気炉2台等がある。					
① 隊員の業務上の地位: 現地のインストラクターと同格又は Assistant Lecturer					
② 技術の範囲: 鋳造、アルミ鋳造の実習指導を主とする。原理の浅い、木型製作に関してもかなりの経験と関連知識を持つ。2ヶ月は。					
③ 業務の形態: 機械科の学生(機械一般、生産機械、自動車、冷凍空調、船舶コース等)約400名を5週間毎に一度循環し、1週間約30回(1回約45分)の実技訓練を同コースで行う。隊員は現地教員一諸人に分担して学生に実技指導を行う。1週間毎に、技術指導を行う。					
⑤ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象学生は18-20歳、一部中等職訓練技術の学生も含まれる。技術水準は低く、経験も浅い。現地の技術指導員は短大卒の教員である。鋳造に					
⑥ 現地で利用できる機材: 上記設備概要欄の機材も、専門に学んだ訳ではなく、技術水準は低い。フルに活用できるものは、改造した隊員及び現地教員の技量如何に、相応の機材購入の用意がなされる。各種試験機器は日本製の物が多い。					
⑦ 第3国人等の配置状況: 東洋和部隊が西暦中である1983年中に引揚がなされる。鋳造工にはいない。					
⑧ 使用する言語: マレー語、英語、専門用語は英語が多い。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の技術社会の現状と将来に対応するため、高度な製造技術を学生に伝授するため、肝心の業務担当である現地教員達の本分野に専門的知識を身に付けてもらう。非常に必要である。少くも現在ある機械設備のメンテナンスに西暦中以上の技量を持った卒業生を育て、海外で教員を満足させる技術水準を養成する必要がある。この点で隊員に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 環境から見て短大卒以上の望みの、基礎の固い職種でもあり、学歴は特に拘りはない。但し、鋳造実務経験4、5年以上を有し、幅広い技術知識を有していることは不可欠である。出来れば木型製作に慣れた技術者である。					

※ 事務局記入

24/

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 23 日

調査者氏名 和泉 守

221-86-018

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名数
エチオピア	(現地公用語) Manufacture of Dies (日本語) 231 鋳造	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Industry (日本語): 工業省					
② 隊員勤務先名称: Kotebe Metal Tools Factory 日本語名称(コトベ金属工場) 所在地: アディスアベバ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 人員は約220名で、简单な農具(ワシベル、コマ)及び シマ、フルハンドライバ一等を鋳造及びプレス加工してあり、他の工場より 工具の鋳造 プレス加工も行っている					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): サーフフェイスグラインダー、レーズマシ、シーティングマシ 打抜用プレス、溶接機					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 鋳造、プレス、加工、成形、新種の工具の開発、改良 ………を行う。					
③ 業務の形態: 同工場の鋳造、プレス製造で2人組を以て、月に1回程度人員の 交代、技術指導を行うと見られ、自らの各工程を製作する。又、新種の工具 の開発(デザイン)、改良等も大々的に行われよう。それに加え、各種製作用 マシンのメンテナンスも行われる見込み。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 同工場の約11名 のリーダーと大卒、30歳台、全般の経験豊富な者が多い。					
⑤ 現地で利用できる機材: サーフフェイスグラインダー、レーズマシ、シーティングマシ					
⑥ 第3国人等の配置状況: ポーランド人 1名 メカニカルエンジニア					
⑦ 使用する言語: 英語 アムハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当工場は、空の製作の必需品の成り立ち一環に 行っており、林産品を以て他と異なり、その月々の収入は技術の導入に 大いに期待しており、その中で大々的の工具作りへの希望が大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 5年以上の経験者 短大卒以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 10 日

調査者氏名 上野利男

146-87014

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリッ	(日本語) 溶接 (240)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	S. 63年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Industry (日本語): 工業省					
② 隊員勤務先名称: Industrial Testing and Research Centre → ITRC 所在地: ダマスカス 日本語名称(工業試験研究所) 主要都市(ダマスカス)から 7 キロ					
③ 事業規模及び内容: 約 150 名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 約半数の機材は援助によるもので、その大半は UNDP にある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 指導員					
② 技術の範囲: 非破壊検査全般及び品質管理					
③ 業務の形態: 溶接構造物の非破壊検査及び品質管理に関し、当面カウンターパートへの技術・理論指導を行う。将来は工業指傘下の各工場の技術者に対して、育成・指導を実施する予定である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 2名共ダマス大卒、うち1名は英国にて非破壊検査に関する研修を6か月受けている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 放射線透過試験装置、磁粉探傷試験装置、超音波探傷試験装置					
⑥ 第3国人等の配置状況: 4年前迄、当所の他の職種には UN 専門家が					
⑦ 使用する言語: 英語(業務)、アラビア語(生活)。 6名活動していた。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
基礎から応用にあたる理論及び技術の、実務への利用方法を向上させることが望まれる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○非破壊検査実務5年、○非破壊検査資格士級					
○英会話力					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 3月 4日

調査者氏名 堀内好夫

(1498610A)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
テニシヤ	(現地公用語) Soudure (日本語) 溶接	新設 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère de l'éducation de l'enseignement et de la recherche scientifique</i> (日本語): 文部教育科学省					
② 隊員勤務先名称: <i>Faculté des Sciences et Techniques de Monastir</i> (日本語名称(モナステール理工学部)) 所在地: MONASTIR 主要都市(テニス)から200キロ					
③ 事業規模及び内容: 当国唯一の総合大学テニス大学の理工学部でモナステール市にある。敷地面積は約10000㎡、約800名の学生と120名の教師がいる。学内には、数学科、機械工学科、エネルギー学科、電気学科、化学科があり、今回の要請は、6年制とした機械工学科からのものである。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 設備面では、学部として二番目にそろっている方で、実習に最低限必要をそろえている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 機械工学科の研究室助手(教官)					
② 技術の範囲: 溶接の基礎から最新の技術まで幅広く求められている。基礎的では、ガス溶接、電気溶接、特殊溶接が上りこぎ。					
③ 業務の形態: 機械工学科の研究室助手として約45名の学生に対し、実習と理論を指導する。学生の1、2年生は準備期間で教養と基礎学習をおこなう。試験に合格したものを3年生として本格的に実習に入っていく。4年生は前半3ヶ月間セミナーに参加し、企業等の技術者を招き新しい知識を取り入れ、最後の6ヶ月間は卒業製作に当る。隊員はその研究の補佐及び助言をおこなう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 約45名の学生(男子のみ)、トクターの資格をもつ教授15名、他助手10名。					
⑤ 現地で利用できる機材: 実習室内にある機械はすべてフランス製である。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 学内にはフランス人10名、ポランド人1名がいる。					
⑦ 使用する言語: フランス語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中進国としてさらに産業技術をも発展させたいと考えている当国では、最新のテクノロジーの普及とその為の技術者養成の必要を感じている。その技術者養成所として、新しく理工学部が1978年に開校し、その任に当たっている。教授達の80%は仏国、米国等に留学経験があり、日本の先端技術についても知っており、日本からの技術協力に非常に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと)					
○大学卒(機械科) ○実務経験2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 9 日

調査者氏名

飯塚 駿介

273-88-029 (240)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
273 タンザニア	(現地公用語) WELDING (日本語) 240 溶接	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION ZANZIBAR (日本語): タンザニア文部省					
② 隊員勤務先名称: MIKUNJINI TECHNICAL SECONDARY SCHOOL 日本語名称(ミクンニ工業高校) 所在地: タンザニア 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数150名 Form1~4に分かれ 機械科 電気科 木工科に分かれている。 文部省下の技術専門学校である					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 学校教員					
② 技術の範囲: 板金仕上げ、旋盤に関する知識・技術					
③ 業務の形態: 学生への理論の講義及び実習指導をする。併せて設備・工具等の管理方法についても指導する。此専門教師に対して教える立場にもなる					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 機械系専門教師4名、工業高校卒業程度					
⑤ 現地で利用できる機材: 溶接機一台、鍛造、及び手工具は一通揃っている					
⑥ 第3国人等の配置状況: デンマーク人 ボランティア					
⑦ 使用する言語: 英語、スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 実習指導可能な教員がおりが主として実習指導する					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 専門教育を受けた者、短大卒以上 ○ 実務経験3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

040 88022

記入 昭和 63 年 3 月 23 日

調査者氏名 鮎川 達

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネーデル王国	(現地公用語) Handloom Weaving (日本語) 織物	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	64年 1月 3日	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Industry, Dept. of Cottage & Village Industry (日本語): 工業省 家内工業局					
② 隊員勤務先名称: 家内工業局 日本語名称() 所在地: カトマントウ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 家内工業局はカトマントウ本部にある。技術訓練部、702工場、生産部、手組工生産部と4地域開発事務所及び702地区外開発事務所があり、ネーデルの家内工業振興に努めている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 3rd Class Officer.					
② 技術の範囲: 機械、染色、デザイン。					
③ 業務の形態: 技術訓練部 織物科のトレーナー3名4人に対し、機械、染色、デザインの指導を行う。 ・生産部の織物セクションにおいて同セクションの長を指導する。 ・手組工生産部において 研究開発を行う。 ・地域開発事務所を巡回指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 配属後決定					
⑤ 現地で利用できる機材: あり。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ネーデル語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 家内工業振興の織物は特に力を入れている。産業化の可能性が高い。 商品価値の高い織物と生産のための技術指導に対する期待は高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 高卒以上 ○ 経験4年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 01 年 8 月 29 日

調査者氏名 飯野

05586016

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
<u>タイ国</u>	(現地公用語) <u>TEXTILES</u>	新規	(男) 人	00年 月 <u>7月 10日</u>	
	(日本語) <u>260 織物</u>	交替	(女) 人		
			(男(不問)) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of education
(日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: Technical college 日本語名称(工業高等専門学校)
所在地: ラブリ県ホーナム市 主要都市(バンコク)から100キロ
- ③ 事業規模及び内容: 全国に約80校ある工業高等専門学校のうち一校で工業系の学科には不足、商業系、デザイン系の学科もあり、教職員70名、生徒1200名。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 一般の教師と同じ位置
- ② 技術の範囲: 織物と言っても範囲が広いが、この場合、織物デザインの分野であり、自動織機で柄織又は模様織をする時の図面をデザインする
- ③ 業務の形態: 絵柄や模様を入力して服を織る時、その絵柄や模様を織る為に入力する図面がある。その図面に基いたデザインに従って、服に色々の絵柄や模様が入る。隊員はそれ故そのデザインに依りて技術移転を行う、ということであり、特に現場のタイ人教師に技術指導を行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: 自動織機、染色機、管縫機、プリンティング機など多数

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 様々な織物があるが、特に柄もの又は色々の模様の入った織物を作る時に、自動織機に組込まれる1/7柄くデザインされたものがあって、その1/7柄に新しいデザインの方法をほどこしてほしいという希望である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

短大又は高専卒以上
経験5~7年
年齢25~30才

※ 事務局記入

207

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

00187011
00187012

記入 昭和 63 年 3 月 20 日

調査者氏名 堀 越 仁 志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Textile Printing	新規	(男) 人	63年12月	
	(日本語) 263 染色	交替	(女) 2 人 (男女不明) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Women's Affairs (日本語): 婦人局					
② 隊員勤務先名称: District Women's Affairs Office 日本語名称(県婦人事務所) 所在地: ঢাকা মহলা 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 独立戦争の被災婦人達の更生施設として1972年2月に設立され、その後時の流れと共に対象者は恵み深い貧困婦人に変わり、現在は50人の婦人が縫製、織物、時計修理の研修中(1年間コース)。被災者の子供達は併設されている託児所にいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、研修室、託児室、台所					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: Screen Printing 網目スクリーン印刷、Block Printing 版印刷により布に模様を染める。					
③ 業務の形態: 50人の研修生の中から染色コースの人を選び、午前10時から午後2時迄の間、スクリーン染や版染を教え、技術が上達して来たら生産を行い、貧しい婦人達の現金収入の道を開く。 午後2時から午後4時迄は栄養、育児、家族計画、一般教養といった授業もあり、隊員の能力により参加することも可能。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 教官は研修内容により、その仕事のため人を臨時にやってくる為一定していない。対象婦人はほとんども学歴無く15~30歳、貧しい環境に育つ。					
⑤ 現地で利用できる機材: 特に無し。機材を集めるところは仕事任せねばならない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は国民の大多数が回教徒といふことも有り、女性の社会進出はまだまだ少ない。まして離婚された女性や夫にまきだされた女性の生活の道は少なく、このような女性達には職能訓練をほとんどの生活の道を開くことは急務といえよう。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (経験 3年以上) 網目スクリーン印刷と版印刷の染色が					
※ 事務局記入					

209

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 5 日

調査者氏名

小野 睦一

(13186101)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モロッコ	(現地公用語) IMPRIMERIE (日本語) 270 印刷	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère de la Santé Publique</i>					
(日本語): 保健省 保健					
② 隊員勤務先名称: <i>Service Centrale d'Education Sanitaire</i> (日本語名称(教育広報課))					
所在地: ラバト 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 保健省に属した人口問題を中心とした家族計画キャンペーンを推進している事業所がある。全職員70人、統計、広報活動を促進、指導、企画し制作している機関がある					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ① <i>Heidelber offset 52x72cm KORS</i> ② <i>Praktika 350 x500mm/MAN</i>					
③ <i>Kataphint (西ドイツ) TYPR 20 x50cm x 64cm (故障中)</i> <i>Roland</i> 社印刷機(多色刷黒・緑・赤)					
(2) 隊員の業務内容: ④ <i>AB. DICK offset 350 (25cm x 50cm)</i> 英国製。					
① 隊員の業務上の地位: 印刷技師					
② 技術の範囲: 上記印刷機の保守、修理、技術に精通している人、現在3色刷くだけしかできないが、今後は全2色の写真ポスター等が作れるようになる技術者、経験豊富な人					
③ 業務の形態: モロッコ人上司の指示により、各計画立案を完成の上、広報活動用のポスター等を中心に印刷を行なう。一緒に働くのは、10人ぐらいのモロッコ人技師があるが、技術的には低い。従って現在は、多色印刷(グラビア)はカサランカの民間会社へ発注している。この事業所の中には、5つの課があり、従って課長も5人いる。資金等の援助は UNICEF や WHO から頂いている部分が多い。機械の保守管理も業務の一部となろう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 2人程度見習工がいるが、専門学校を出た人となり、この現場で習った知識と技術の仕事をしている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 殆どどの印刷機械が揃っている。1台1〜2台はすでに故障中で修理が出来ない為そのまま放置されたままである。機械のほとんどは西ドイツ製の1つだけ <i>offset</i> 印刷機と英国製がある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ平和部隊員1名(デザイン)、協力隊員1名(視聴覚検査)					
⑦ 使用する言語: フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在の3色から多色刷り(グラビア印刷)に移す。民間への発注を切り替え、経費の節約を計りたい。機械設備としては、一応必要最小限度のものが整備されており、これらを使いこなせるような隊員の派遣を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で明記): 少なくとも印刷を日本の学校で専門に学びひととおり、上記の機械を操作、保守できる人。経験5年以上、専門学校卒(印刷)、積極性が有り、性格的に明るい人が望まれる。高年齢者は望まない。					
※ 事務局記入					

204

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 2 月 25 日

調査者氏名 堀内好夫

(14988004)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	Arts Graphiques (日本語) (270) 印刷	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de la Promotion</i> (日本語): 社会事業省職業訓練局 (O.F.P.P.) <i>Professionnelle</i>					
② 隊員勤務先名称: <i>Centre de Formation Professionnelle des Arts graphiques</i> 日本語名称(印刷技術者養成職業センター) 所在地: <i>N°25, Av. de l'Indép. Ariana</i> 主要都市(Tunis)から6キロ					
③ 事業規模及び内容: 1975年に開設され①オセット、②植字、③製版のセクションがある。 17才以上の青年に印刷技術を1年間にわたって教える職業訓練センターである。1987年度の予算は約390万円、1988年度は約520万円とのこと。教官6名、学生40~50名である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: FORMATEUR (教官)					
② 技術の範囲: 上記3つの各セクションについて一通り教えることが出来る印刷技術全般を知っている必要がある。					
③ 業務の形態: センターは毎年10月1日から翌年9月30日まで開校、冬休み、春休み、夏休みがある。その間にあり、この休み期間生徒は企業研修を受けている。教官として隊員は週32時間月~金曜まで教える。同センターでは学生が印刷技術を学んでいると同時に政府・役所等で使用する公文書・経理文書フォームなどを印刷し、政府に売って事業費としている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生40~50人、クラス10人前後の学生に印刷技術全般を教える。17才以上、当素人である。教官6名					
⑤ 現地で利用できる機材: ドイツ製(Heidelberger)、オランダ製(PRAKTIKA)、イギリス製等があり利用できる。が故障している機械もある。 (9700)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 仏語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術的に同訓練センターは高く、学生も1年後には各企業に在りとか就職していき、また新しい技術の取得を通じてはいたす。日本人技術者に対しては、その辺に期待をかけている。また機械もしばしば故障するようで、機械のメンテナンスに肉しても期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (印刷技術全般の知識)があり、かつ(経験4年以上)印刷機械についてもある程度知識があり簡単な修理技術もせっていがあればよりよい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 4月 6日

調査者氏名

奈良輪睦美

243-86-118

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウシ	(現地公用語) Press Engineer プレスエンジニア (日本語) 270 印刷	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): office of the President & Cabinet, Government Printing Department (日本語): 大統領府 政府印刷局					
② 隊員勤務先名称: Government Press Zomba 日本語名称(政府出版局 ゾンバ) 所在地: P.O. Box 37 Zomba. 主要都市(マラウシ)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 政府刊行物(官報、国会演説集、各省庁統計レポート、etc)を主として各省庁で使用する各種書式類の一切を本部が当地で印刷する。全作業員約30人、うち印刷工10人、リロングエネ社 42名が所は今年中に開始予定。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 車輻棟 1. 印刷棟 1. 現像棟 1. 倉庫 2.					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Press Engineer (Professional officer)					
② 技術の範囲: 各種印刷機の保守・修理が可能に、又新機導入時時の機種選定や故障を、新機種を含めた各種機械の操作法を印刷工に指導・訓練する。					
③ 業務の形態: 主たる業務としては現在ある機械(英国製(割)、西独製(割)、その他(割))の保守・管理にあたる。機械に付いては20-30年前、カマ-機(東製)などは10年以上昔のものも現在稼働しており、これを含めた修理(特に電気系統の故障修理)が重要。又、マラウシ国立大学(マラウシ)や教員養成所(ドマシ)、マラウシ農業省(リロングエネ)等へ出張し直接修理にあたる。故障部品の故障率調査・発注及び機械の寿命等についてのアドバイスも必要。 印刷機(割): 英国(トナソン) 西独(ロラッド・ドローイング) 日本(日機) 他。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 1人、短大卒、ある程度の技術水準にあり、本は週2回マラウシのGeneral Fittingで勉強している。					
⑤ 現地で利用できる機材: 特殊工具を含め一応のものは揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在 Press Engineerとして8年経験を持つ者が、本年10月に引当りの予備マラウシ工学部コースに入学するためその後継者として要請があった。印刷技術の知識はあり、特に電気系統の故障修理がオキカ、電気分野に熟達している人が望まれている。又、新しい日本の印刷技術には大いに期待しており、将来日本製機械の導入も併せて考えているとのこと。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒(工学部印刷専攻)、実務経験2-3年、英語堪能					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 2月 16日

調査者氏名 飯塚 駿介

273-88-019 (270)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
タンザニア	(現地公用語) PRINTING (日本語) 印刷 270	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	63年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF INDUSTRIES AND TRADE (日本語): 産業省					
② 隊員勤務先名称: TANZANIA KARATA ASSOCIATED INDUSTRIES (日本語名称(タンザニア印刷協会) 所在地: DUNDEE (T.K.A.I.) 主要都市(ダニエラ)から					
③ 事業規模及び内容: T.K.A.I.'S TYPE SETTING SERVICES CO. PRINT PACK CO. PRINTING CO. KIBO PAPER CO. 本協会は我々の計6社が合成した新聞書籍証券類の印刷及び印刷機、紙材、印刷機、タンザニア国内に於ける印刷機材の供給、T.K.A.I. 総従業員数約2,000人の工場					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 活版印刷、オフセット印刷、輪転印刷等の印刷機械、製本のための排気機、垂直製版機、各種の機械、20年以上の経験から最新のコンピューター制御の機械、UK USA 日本型と多種多様な印刷機材					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 印刷技術					
② 技術の範囲: 各種印刷、製版技術の知識を有し、且つ機械の保守整備が可能となる。					
③ 業務の形態: 総業務時間 8:00 AM ~ 12:00 PM, 1:00 PM ~ 5:00 PM, 7:00 PM ~ 12:00 AM の交替制によるため、T.K.A.I. の事務所を隔ち、6社を巡回し技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 年齢若くし技術水準、学歴等は異なり、着任後の7-8ヶ月の研修が必要となる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 印刷の工具類は揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: スウェーデン人2名(新機材導入から新工場建設のため、3ヶ月間の作業)					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タンザニア国内に於ける印刷機材の供給、T.K.A.I. が唯一の最大規模の印刷技術者派遣プログラムを実施してきている。技術者導入は、資本及び生産性の向上に大きく貢献している。新技術の導入と、修理、管理の技術が伴えば、非常に効果的である。印刷機の増設は、技術指導、技術移転を助げる。後援は、日本の印刷技術者に対する期待である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 奨学経歴: 2年以上 ○印刷全般に関する知識と技術も有する					
② 運転免許を有する					
※ 事務局記入 25					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 8 日

調査者氏名 中村 誠一 (シニア)

ホンデュラス事務所長 鶴巻 法岳

3x9 8/10-1

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンジュラス	(現地公用語) Impresión offset (270) (日本語) 印刷	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	64年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Hondureño de Antropología e Historia (日本語): ホンジュラス国立人類学歴史学研究所					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称() 所在地: テグシガルパ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 研究所は本国に存在する文化財の調査、保護にたずさわっている。また外国の援助をうけて様々な考古学プロジェクトを実施している。現在協働隊との間でラ・エンターダ考古学プロジェクトを実施している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究所は現在出版部門を含めた新たな建物を建造中であり、63年1月~2月には完成予定。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 出版部門の技術顧問					
② 技術の範囲: 研究所の必要文献雑誌その他を実際に印刷するとともに職員に対して訓練・技術移転を行なう。					
③ 業務の形態: 半年に1度の定期刊行物の印刷。各プロジェクトの報告書出版名前入り封筒、便せん、遺跡公園 博物館等の入場券の印刷など。現在実施中のラ・エンターダ考古学プロジェクトの最終報告書も印刷する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 研究所の職員1~2名。本国内で訓練を受けたことはあるが水準は高くない。					
⑤ 現地で利用できる機材: オフセット印刷機 および 付属部品 Ricoh Auto Printer 2600, Ricoh 電子プリンター S3, Ricoh Auto Processor FE-2, LPL Diffusion Enlarger Model 7450, C760 Modular Dichroic system					
⑥ 第3国人等の配置状況: 配属部門にはいない。					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本政府からの寄贈により数年前オフセット印刷システムが入手されたが技術者の欠如により使用できていない。研究所は莫大な数の出版物・印刷物をかかえており、これらはほとんどすべてが遅滞している。また外部の印刷業者に頼むコストがかさみすぎ肝心の文化財保護が十分にできないなど悪循環をたどるため技術者を要請し訓練を希望している。期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件についてO印で囲むこと): O スペイン語の適切な運営能力 O 現地の人たちを尊敬し相互に助けあって協調していける人物, 図面印刷, 図面設計, 製本等に関する知識をどうことが望ましい。					

※ 事務局記入

255

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 3月 10日

調査者氏名 税所卓也. 部長

052 88006.

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) plate making	新規	(男) 1 人	63年 12月	
	(日本語) 273 製版	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment (日本語): 青年問題産業省					
② 隊員勤務先名称: National Youth Services Council (Youth Service Press) 本語名称(青少年対策評議会) 所在地: 65, High Level Road, MAHARAGAMA 主要都市(コロンボ)から 13 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同省は青少年育成, 雇用促進, 自己啓蒙のための補助計画を課題とし, 傘下には NYSC を持ち, NYSC は全国に 17 の職業訓練所を持ち, 1988 年 1 月新しく本部を上記住所に建築した。そして青少年のための職業訓練, スポーツ, 文化の中心的役割を担っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 本部事務所, 多目的ホール(訓練コース(9コース) 宿泊棟(管理展示棟 屋外スポーツ施設, 馬車場, 計 15,034 m ² 学習棟					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: PRINTING MANAGER					
② 技術の範囲: フォトセ印刷一般の技術, 特: 製版作業の技術とデザイン, 配色					
③ 業務の形態: National Youth Services Council (N.Y.S.C) の運営する印刷所にて, 主に フォトセ印刷の製版(plate)制作の指導と訓練を行う。現在 Process Art 部門には経馬 3 年のスタッフ 1 名と訓練生 1 名がいる。午前 8 時 15 分 ~ 午後 4 時 15 分, 勤務時間 ±, 日は休みであるが, 訓練生のための訓練時間は特に設けており, この為, 実務を通じ, 訓練を行うことはできる。また, 印刷所全体の管理にも目言して必要になる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: State printing Cooperation 2" 10 年の実務経験がある他, 通信制大学で 3 年学んでいる地位は Printing Manager 年齢は 38 歳					
⑤ 現地で利用できる機材: (1) フォトセカラ 1 台(大日本スクリーン(株)製 color Campanica 650 CR)					
(2) Film Contact Board - P604 (3) Konica Graphic Art Film, Color Separation Film					
(3) Plate making machine: p-702, vacuum printer 65x55 (4) Konica positive & Negative plate					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: シンハリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: NYSC で使用する印刷物は, この Youth Service Press で行っている。スリランカでの印刷コストは高く, 質が悪い。この為, 印刷技術の向上とともに, 青少年用の教育用印刷物(テキスト, ハンズレット等)の開発が望まれている。 その他, スリランカ青少年との交流。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(フォトセ印刷)の経験 5 年以上, 特: 製版技術 高卒以上。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 1 日

調査者氏名 級野

05586017

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) PRINTING	新規	(男) 1 人	62年 月 早い時期	
	(日本語) 273 製版	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of education
(日本語): 文部省

② 隊員勤務先名称: The institute of technology and vocational education 日本語名称(技術職業高等専門学校)
所在地: フェニックスシティ市 education 主要都市(バンコク)から750キロ

③ 事業規模及び内容: ITVEフェニックス校は生徒数3000名 教員数200名で工業系の専科だけでなく、商業系の専科をたてている。印刷専科は出来ていない専科で、生徒数も少ないが、校舎は多数あり、教員の可能性のある専科である。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 印刷科の教師

② 技術の範囲: 特に写真製版の技術が要求されている。又、スキマに就いても知っていると必要である。即ち、写真製版とスキマのふたりの技術部門である。

③ 業務の形態: この印刷科は、この写真製版とスキマの部分が弱点である。この部分に強い人に来てもらい、生徒に対する指導、タイ人教師の質の向上、学習場の定員と日常の業務をこなしてもらうという事である。オフセットに関しては、その知識が有れば業務上大変有効である。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: 古い機材はそろっている。

⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員4名、ドイツ人1名

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 印刷科には機材は一通りそろっているが、その機材を有効に使用して行く技術が乏しい。特に写真印刷又は写真製版、そしてスキマに関しては技術が十分でない。協力をしてほしいと希望である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

170cm 陸軍の部
とらば 55kg以上
工業高専卒以上
経験 写真製版・スキマに関して経験が
3~5年

※ 事務局記入
後援の者の primary 年齢 25以上
S.P.K.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 4 月 3 日

調査者氏名 谷 口 世 志 子

404-87-001

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィジー	(現地公用語) Photo process and plate making (日本語) 273 製版	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	273だけ 年 月 早く	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: School of Printing 日本語名称(印刷学校)					
所在地: スラ 主要都市(スラ)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 教育省下のフィジー技術訓練校の1つで印刷技術について教えているスラ唯一の学校。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: アシスタントレクチャーとして。					
② 技術の範囲: 写真製版の技術(全版(全色から約色まで)):					
③ 業務の形態: 写真製版の技術を現地スタッフに教える。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 不明					
⑤ 現地で利用できる機材: 製版に必要な機材はある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: カラ印刷技術が未熟なため国内の需要に応じきれない現状である。日本の印刷技術の水準の高さは十分に知っており、派遣は好む時期は大変。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 工業高卒以上, 5~10年の実務経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 2 月 6 日

調査者氏名 奥 村 浩 一

31988010

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	MANTENIMIENTO DE EQUIPOS CONSTRUCCION DE BOTES (日本語) 290 小造船 (グラスファイバー漁船)・保守	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	1989年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): CORPORACION NACIONAL PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO-CODECHOCO-					
(日本語): チョコ州地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: CORP. NAC. PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO 日本語名称 (チョコ州地域開発公社)					
所在地: Cra. 1A No. 22-96 QUIBDO, CHOCO 主要都市 (キブド) から ----- キロ					
③ 事業規模及び内容: 当開発公社は、チョコ州の地域開発事業に取り組んでいる。漁業部門ではソラノ湾に於てチョコ大学漁業学校と協力し地域漁民への技術指導を行っている。現在国家的規模での同州開発計画が進められているが、特に沿岸漁業開発はその中心となっている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい) 公社本部建物 (キブド市)、資源部事務所 (キブド市)、その他森林・漁業関係事業所 (州内6箇所)、大学所有ランチ2隻、船外機付ポート4隻、冷凍庫 (4~5ト)、一般実験設備、その他					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: チョコ大学水産学部造船科教授					
② 技術の範囲: 大学造船科 (新設予定) にてグラスファイバーボートの造船技術指導及び地域漁民への保守指導					
③ 業務の形態: ソラノ湾 (太平洋岸) 事業所及びチョコ大学漁業技術学校 (水産学部) にて生徒・地域漁民へのグラスファイバーボートの造船技術指導を行う。又、船外機の保守等の指導も併せて行う。隊員派遣と同時に同造船科の設置を予定しているので、具体的内容については現在未定である。一応地域漁民への同ボートの普及・保守指導がその目的である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在のところ未定					
⑤ 現地で利用できる機材: 事業所所有船外機付ポート、ランチ、チョコ大学水産学部所有実験設備、教室その他					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当公社は、チョコ州地域開発の事業を行っているが、当地はコロンビアでも最も経済的に貧しい地域であり、公社も財源難でその経営が苦しいのが実情である。天然資源には割合恵まれており、金銀鉱山を始めとして開発が行われている。又森林・漁業資源にも恵まれているが、その運搬方法が未整備の為有効に活用できず、地域住民の経済的基盤向上のネックになっており、それらの総合開発を含めての日本からの地域住民への技術向上指導等、協力を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): グラスファイバーボート製造経験者で、その他簡易船舶機関保守技術のある者					
※ 事務局記入					

2971